

第6回 Student Formula SAE Competition of JAPAN



全日本学生フォーミュラ大会

ものづくり・デザインコンペティション
～学生が自ら構想・設計・製作した車両による競技会～

Official Program



9/10^水 ~ 13^土
2008

主催 | 社団法人自動車技術会



Organizer | Society of Automotive Engineers of Japan, Inc.(JSAE)

ECOPA 小笠山総合運動公園
OGASAYAMA SPORTS PARK

後援(予定) | 文部科学省, 経済産業省, 国土交通省, 静岡県, 日本自動車工業会, NHK, 日本テレビ放送網, 東京放送, フジテレビジョン, テレビ朝日, 静岡放送, 静岡朝日テレビ, 朝日新聞社, 読売新聞社, 毎日新聞社, 日本経済新聞社, 日刊工業新聞社, フジサンケイビジネスアイ, 日刊自動車新聞社, 静岡新聞社, FISITA



大会のコンセプト／競技概要	1
Concept of the Competition／Outline of the Competition	
競技スケジュール	2
Schedule	
スポンサー企業一覧	4
Sponsors	
ご祝辞	41
Congratulatory Message	
ごあいさつ	42
Introduction	
大会ルールの概要	43
Outline of Rules Governing Competitive Events	
表彰	44
Awards	
参加チーム【車両スペック】	45～58
Team Information (Vehicle Specifications)	
参加チーム【チームメンバーとスポンサー】	59～74
Team Information (Members and Sponsors)	
主催・後援・協賛・大会スタッフ/委員会組織	75
Organisers/Sponsors/Co-Sponsors/Competition Staff/Committee Member	
Formula SAE® とは	76
About Formula SAE® Competition	
大会開催の経緯	77
History of Competition	
エントリーチームマップ	78
Entry Team Map	
大会を安全にご覧いただくために	79
Event Safety	
第5回大会参戦記	80
5th Competition Report	
第5回大会ドキュメント	81
5th Competition Results	
大会グラビア【2007年 第5回大会】	82
Photo gallery	

大会のコンセプト

Concept

競技会のコンセプト Concept of Competition

全日本学生フォーミュラ大会は、学生たちが企画・設計・製作したフォーミュラスタイルの小型レーシングカーで競技を行います。この大会は、米国で1981年から毎年開催されている Formula SAE®(SAE International 主催) のルールに準拠して開催するものです。

大学、短大、高専等の学生がチームを組み約1年かけて製作した車両を持ち寄り、コスト、プレゼンテーション、設計の静的イベント、車検、アクセラレーション、スキッドパッド、オートクロス、エンデュランスの動的イベントを4日間にわたって行い、車両性能だけでなくものづくりの総合力を競います。そして、優秀なチームを表彰します。

学生たちは、アマチュア週末レーサーに販売することを仮定して車両を製作します。したがって、加速性能、ブレーキ性能、操作性、耐久性能が優れているだけでなく、美しさ、快適さ、低コスト、メンテナンス性を高めることも要求されます。また、一日あたり4台の生産計画のもとに、その車両の実質コストはUSD25,000以下としています。さらに、車両製作にあたっての車体フレームとエンジンに関する制約は必要最小限にすることによって、学生の知識や独創性や構想力が発揮できるように配慮しています。

これらの狙いと目標に適合した車両を設計・製作するために学生チームは挑戦します。学生たちは、車づくりを通して実践的な問題解決力や応用力、旺盛な行動力やマネジメント能力など教室では培うことが難しい貴重な経験を積むことになります。

大会運営の基本方針 General Policy on Operation Competition

大会運営の最優先事項は、事故のない安全な大会です。そのためには、大会スタッフとチームメンバーとの意思疎通を良くすること。規律ある言動を重視します。6回目を迎える今年の大会は、海外15チームを含め77チームのエントリーがありました。

競技種目 Competition category		競技概要 Outline of competition	配点 Awarded points
車検 Tech inspection		(技術検査) ルールで定められた車両の安全・設計要件の適合検査、(ブレーキテスト) 4輪ロック、(騒音テスト) 所定の条件下で排気音110dB以下、(チルトテーブルテスト) 45度傾斜での燃料漏れ確認、60度傾斜での転覆確認。	—
静的審査 Static events	コスト Cost	予算とコストは、生産活動を行うにあたって考慮しなければならない重要な要素であることを参加者に学ばせることが狙い。車両の製造コストは、USD25,000以下。事前の期限までに提出したコストレポートのコスト精度、車両との適合を審査する。一般に購入品目となる2つの部品について、製造プロセスなどの口頭試問を行い、知識、理解度を評価する。	100
	プレゼンテーション Presentation	開発車両の設計が「アマチュアの週末レース市場の要求に合致しており、製造販売で利益を出せることを製造メーカーの役員に納得させる」という仮想シチュエーションで行う。学生のプレゼンテーション能力を評価する。	75
	デザイン(設計) Design	事前の期限までに提出した設計資料と車両をもとに、どのような技術を採用し、どのような工夫をしているか、またその採用した技術が市場性のある妥当なものかを評価する。具体的には、車体および構成部品の設計の適切さ、革新性、加工性、補修性、組立性などについて口頭試問する。	150
動的審査 Dynamic events	アクセラレーション Acceleration	0-75m加速、各チーム2名のドライバーがそれぞれ2回、計4回走行し、タイムを競う。	75
	スキッドパッド Skidpad	8の字コースによる定常円旋回中のコーナリング性能評価。各チーム2名のドライバーがそれぞれ2回、計4回走行し、タイムを競う。	50
	* オートクロス Autocross	直線・ターン・スラロームを組み合わせた約900mのコースを1周する。各チーム2名のドライバーがそれぞれ2回、計4回走行し、タイムを競う。	150
	* エンデュランス および燃費 Endurance & Fuel economy	直線・ターン・スラロームを組み合わせたコースを約22km走行する。各チーム2名のドライバーが中間点で交代して走行し、タイムを競う。燃費審査は、エンデュランス走行時の燃料消費で評価する。	350 (エンデュランス) 50 (燃費)
合計 Total points			1000

※上記の競技種目以外に、車重測定と排ガス測定(今年度より導入)を実施します。

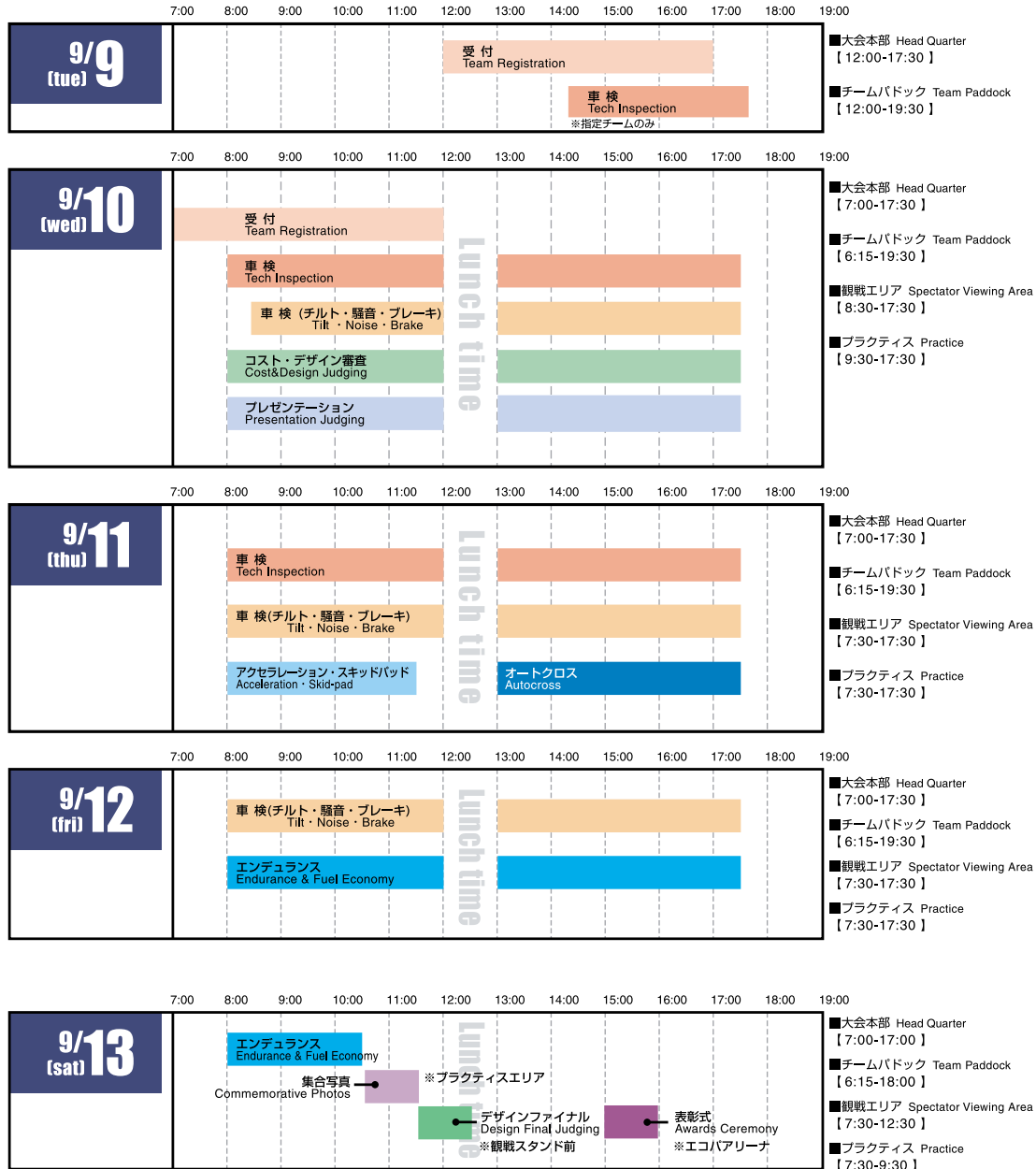
※コースの長さは変更になる可能性があります。

エントリーチーム Car Number & Entry Teams [エントリー締切日: 2008年2月29日]

Car No	Body-color(s)	School Name	Car No	Body-color(s)	School Name	Car No	Body-color(s)	School Name
1.		上智大学 Sophia University	14.		明星大学 Meisei University	27.		名古屋大学 Nagoya University
2.		国土館大学 Kokushikan University	15.		武蔵工業大学 Musashi Institute of Technology	28.		名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology
3.		金沢大学 Kanazawa University	16.		金沢工業大学 Kanazawa Institute of Technology	29.		東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology
4.		東京大学 The University of Tokyo	17.		神奈川工科大学 Kanagawa Institute of Technology	30.		豊橋技術科学大学 Toyohashi University of Technology
5.		芝浦工業大学 Shibaura Institute of Technology	18.		横浜国立大学 Yokohama National University	31.		静岡理科大学 Shizuoka Institute of Science and Technology
6.		京都大学 Kyoto University	19.		首都大学東京 Tokyo Metropolitan University	32.		同志社大学 Doshisha University
7.		静岡大学 Shizuoka University	20.		慶應義塾大学 Keio University	33.		立命館大学 Ritsumeikan University
8.		大阪市立大学 Osaka City University	21.		日本大学理工学部 College of Science and Technology, Nihon University	34.		名城大学 Meijo University
9.		近畿大学 Kinki University	22.		千葉大学 Chiba University	35.		ホンダテクニカルカレッジ関西 Honda Technical College Kansai
10.		東海大学 Tokai University	23.		Yeungnam University	36.		大同工業大学 Daido Institute of Technology
11.		ホンダテクニカルカレッジ関東 Honda Technical College Kantou	24.		Southern Taiwan University of Technology	37.		ものづくり大学 Institute of Technologists
12.		大阪大学 Osaka University	25.		茨城大学 Ibaraki University	38.		岐阜大学 Gifu University
13.		宇都宮大学 Utsunomiya University	26.		岡山大学 Okayama University	39.		九州工業大学 Kyushu Institute of Technology

競技スケジュール (競技場所は裏表紙の会場マップ参照)

Schedule



※本スケジュールは諸事情により変更場合があります。

Car No	Body-color(s)	School Name	Car No	Body-color(s)	School Name	Car No	Body-color(s)	School Name
40.	東京理科大学	Tokyo University of Science	53.	秋田県立大学	Akita Prefectural University	66.	Iran university of science & technology(Arak branch)	
41.	山梨大学	University of Yamanashi	54.	北海道大学	Hokkaido University	67.	埼玉工業大学	Saitama Institute of Technolgy
42.	福井大学	University of Fukui	55.	九州産業大学	Kyushu Sangyo University	68.	トヨタ名古屋自動車大学	Toyota Technical College Nagoya
43.	神戸大学	Kobe University	56.	日本大学生産工学部	College of Industrial Technology, Nihon University	69.	北九州市立大学	The University of Kitakyushu
44.	高知工科大学	Kochi University of Technology	57.	崇城大学	Sojo University	70.	山形大学	Yamagata University
45.	成蹊大学	Seikei University	58.	日本工業大学	Nippon Institute of Technolgy	71.	Vnr Vignana Jyothi Institute of Engineering and Technology	
46.	信州大学	Shinshu University	59.	Thapar University		72.	東京工業大学	Tokyo Institute of Technolgy
47.	久留米工業大学	Kurume Institute of Technolgy	60.	Laxmi Devi Institute of Engineering and Technology		73.	湘南工科大学	Shonan Institute of Technolgy
48.	京都工芸繊維大学	Kyoto Institute of Technology	61.	M.H.S.S. College of Engineering		74.	Guru Gobind Singh Indraprastha University	
49.	大阪産業大学	Osaka Sangyo University	62.	Tongji University		75.	大阪工業大学	Osaka Institute of Technolgy
50.	工学院大学	Kougakuin University	63.	Donghua University		76.	Institute of Automotive Engineers Sri Lanka	
51.	福井工業大学	Fukui University of Technology	64.	M.S.Ramaiah Institute of Technology		77.	King Mongkut's Insttute of Technology Ladkrabang	
52.	Kunsan National University		65.	Indian Institute of Technology Madras				

スポンサー企業一覧

Sponsors

SSクラス

トヨタ自動車

Sクラス

日産自動車

本田技研工業

Aクラス

マツダ
スズキ
ヤマハ発動機
富士重工業
いすゞ自動車

V S N
オーテックジャパン
川崎重工業
コンチネンタル・オートモーティブ
ZF JAPAN

シーメンスロボットライクイカメビジョンソフトウェアJP
ジャトコ
ソフトウェアアクレイドル
ソリッドワークス・ジャパン
ダイハツ工業

デンソー
日立製作所
三菱自動車工業
三菱電機

Bクラス

日野自動車
サイバネットシステム
日産ディーゼル工業
アイシン精機
イービックス
エイヴィエル ジャパン

エクセディ
NSKワーナー
NOK
NTN
エフ・シー・シー
オートデスク

ケーヒン
大同特殊鋼
トヨタテクニカルディベロップメント
ボッシュ
ミクニ
ミスミグループ本社

三菱ふそうトラック・バス
武蔵精密工業
八千代工業

Cクラス

アイシン・エイ・ダブリュ
愛知機械工業
カルソニックカンセイ
大成社
豊田自動織機
トヨタ車体
ムラヤマ
ユタカ技研
愛三工業
アイシン・エーアイ
愛知製鋼
曙ブレーキ工業
朝日電装
アスモ
アドヴィックス
アトラスコプロ
アネブル
石川ガスケット
いすゞエンジニアリング
白井国際産業
内山工業

エー・アンド・デイ
エス・オー・シー
エンケイ
小野測器
関東自動車工業
菊池プレス工業
キャタラー
極東開発工業
クボタ
三五
山王テック
JTB中部
ジェイテクト
ショーワ
ジョソフ・マッセイ・ジャパン・インコーポレイテッド
新日本石油
榛葉鉄工所
鈴与
住鋳潤滑剤
住友軽金属工業
住友ゴム工業

住友電気工業
住友電装
ソミック石川
大同メタル工業
ダイナテック
太平洋工業
ダッド
中央発條
テイ・エス テック
dSPACE Japan
東海ゴム工業
東海理化
東京オールアンドデー
東京ラヂエーター製造
東京濾器
東日製作所
東洋ゴム工業
東レ
豊田合成
トヨタテクノクラフト
トヨタ紡織

日産車体
日産テクノ
日信工業
日本デルファイ・オートモーティブ・システムズ
日本特殊陶業
日本発条
ハイレックスコーポレーション
浜名湖電装
原田工業
ピーエスジー
フジオセックス
ブリヂストン
フルキャストセントラル
プレス工業
山田製作所
ユニキャット
ユニプレス
横浜ゴム
ローマックス・テクノロジー・ジャパン

Dクラス

アメリカ機械学会日本支部
エヌエフ回路設計ブロック
オムロン A E Cカンパニー
キリウ
くいんと
ジェイアイ傷害火災保険
タイコ エレクトロニクスアンブ

大豊工業
デュートロン・ジャパン
デンソーテクノ
東京海上日動火災保険
西川ゴム工業
西鉄エム・テック
ニチリン

日本ガスケット
日本ミシュランタイヤ
バンドー化学
藤壺技研工業
松井製作所
ミツバ
三菱自動車エンジニアリング

三ツ星ベルト
ヤマハモーターパワープロダクツ
レイデント工業

表彰スポンサー・他

イータス
日本自動車工業会
小野測器
サイバネットシステム
無限MUGEN/M-TEC
V S N

FISITA
共和電業
住友ゴム工業
横浜ゴム
ブリヂストン
日本総研ソリューションズ

住友スリーエム
ウェーブアイ
プレス工業
オーテックジャパン
東洋ゴム工業
アメリカ機械学会日本支部

自動車技術会
レノボジャパン
堀場製作所
エイヴィエルジャパン
日本SGI
アサヒ飲料

第6回 全日本 学生フォーミュラ大会開催を祝して

Congratulatory Message for The 6th Student Formula SAE Competition of Japan



文部科学大臣
渡海 紀三朗

第6回全日本学生フォーミュラ大会の開催を、心からお慶び申し上げます。

我が国が、激動の21世紀においても国際競争力を発揮して、世界に冠たる「科学技術創造立国」であり続けるためには、技術革新と、それを生み出すための技術の蓄積が必要です。さらに、チャレンジ精神旺盛な若き技術者を育てるとともに、人類共通の財産として培ってきた科学技術を彼らに引き継いでいくための営みもまた、不可欠なものです。

本大会は、次代を担う技術者の育成を目的とする点、さらには、作り上げた自動車の速さのみを追求する競技会でない点、チーム単位での参加を求めている点において、極めて有意義なものであると考えております。

工学を学ぶ全国の学生がチームを組み、自動車の企画、設計、製作、試験という一連のものづくりに取り組む過程で、日ごろ学んでいる工学の知識はもちろん、一技術者集団として、実践的な問題解決力、コスト意識、マネジメント能力など、普段の教室では意識されることの少ない要素が求められます。本大会を通し、ものづくりの世界で活躍する技術者が実際に直面している様々な課題と向き合い、それを乗り越えるために挑戦していくことは、今後、技術者として産業界を目指す学生にとって、得難い経験になるものと考えます。

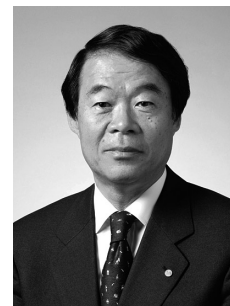
第6回目を迎える今回は、国内外から77チームが参加するなど、年を追って参加校が増えています。これは本大会が社会から高く評価されていることの表れであり、大変喜ばしく思います。

学生諸君が、本大会を契機に研鑽を積まれ、将来の我が国の産業界を支える技術者として御活躍されることを祈念しております。

本大会に出場された各チームの皆様、指導教員や学校関係者の皆様の御健闘をお祈りするとともに、社団法人自動車技術会をはじめ、本大会の企画・運営を支えられた皆様の御尽力に敬意を表して、お祝いの言葉といたします。

第6回 全日本 学生フォーミュラ大会を迎えて

Welcome to 6th Student Formula SAE Competition of JAPAN



社団法人 自動車技術会
会長 岡本 一雄

岡本 一雄

若者の理科離れや、学校でのものづくりの機会が不足している状況のもと、「ものづくりによる実践的な人材育成プログラム」として2003年にスタートした全日本学生フォーミュラ大会は、今年で6回目を迎えます。

「ものづくりの総合力を競い合う」という本大会の主旨に賛同しエントリーして頂いたチームは、海外も含めて過去最高の77チームとなりました。これまでの実績が評価され、アジア各国からのチームが多くなっていることが本大会の特徴となっています。

エントリーチームの増加は喜ばしい限りですが、会場や運営の規模、安全性等を考慮し、本大会に出場できるのは65チーム以内にする必要があったため、今年は初めてデザインレポートやコストレポートによる書類選考を導入しました。その結果、残念ながら本大会の競技種目に出場できないチームに対しては、作成した車両の展示スペースの確保やフォローアッププログラム等を実施し、次回出場に向けての支援を行います。

本大会参加に向け約1年をかけ、車両の設計・製作、提出書類準備等の様々な努力を積み重ねた経験を生かして、各チームがそれぞれに満足いく成果が残せるよう期待しております。

今後とも、世界で力を競い合うことができる、より高いレベルで本活動が発展していくよう、関係者の皆様のご協力をいただきながら努力していきたいと考えております。

最後になりますが、参加チームの皆様のご健闘をお祈りするとともに、後援、協賛、およびスポンサーシップをいただきました産学官の皆様、昨年に引き続き多大なご協力をいただきました開催地である静岡県、掛川市、袋井市の皆様、また、大会運営スタッフをご派遣下さいました企業、大学の皆様、そして大会運営スタッフ一人ひとりの皆様に心より厚く御礼申し上げます。

第7回 全日本 学生フォーミュラ大会開催

2009年9月上旬の4日間を予定しています。

皆さんの参加を歓迎します。

大会ルールの概要

Outline of Rules Governing Competitive Events

参加車両は、学生が構想・設計・製作したもので、2008FSAE®の規定を満たすこと。過去の大会に参加した車両のフレームは使用できない。車両の構成部品についても、安易に市販品等を用いるのではなく、できる限り学生自ら製作することをモットーとする。また、プロの技術者・研究者の情報を利用すること、設計の基礎・安全に車両を製作するための方法に関する指導・支援を受けることは許容するが、設計仕様を決定したり設計図を書いてもらうことは許容しない。

安全面については厳格で緻密なルールにしているが、学生たちの知識、独創性、構想力が大いに発揮できるように、安全要件を除いた設計上の制約は必要最小限にしている。

参加資格は、大学院、大学、短大、高専、又は短大相当の専門学校の18歳以上の学生が対象。なお、競技会の7ヵ月前までに卒業した者は参加資格を有する。

【主な設計要件】 Design Requirements

- ①タイヤがカウルで覆われてなく、コクピットがオープンなフォーミュラスタイルの車両であること。
- ②4サイクルピストンエンジンで排気量610cc以下。オリジナル設計の過給機の装着は可。
リストラクター（吸気制限装置）の最大直径は20mm。使用燃料は100RON（リサーチ法オクタン価）の無鉛ガソリンとする。
- ③ホイールベース1525mm以上。トレッドは、フロント又はリアの大きい方に対して75%以上。ホイールは8インチ以上。
- ④排気音量は、排気口から水平面45度、50cmの位置で110dB以下（所定の回転数）。

【主な安全要件】 Safety Requirements

- ①横転・正面衝突・側面衝突時にドライバーを保護するために、メインフープ、フロントフープ、フロントバルクヘッドおよびこれらのブレースやサポート、側面衝突保護構造体などについて構造・材料などの詳細を規定。
- ②車両前端からメインフープ又は防火壁の間のドライバー区画に開口部がないこと(コクピット開放部に関して定めることは除く)。
- ③衝突エネルギーを吸収する装置として、フロントバルクヘッドの前にインパクトアッテネータを取り付けることを規定。
- ④ドライバー安全規則として、拘束システム(5又は6点式シートベルト)、保護用具(ヘルメット、スーツ、手袋、シューズなど)、視界、ヘッドレスト、ドライバー脱出時間(5秒以内)、横転限界角度、防火壁、消火器、ドライバーの脚・足の保護等について詳細を規定。
- ⑤ブレーキは4輪すべてに作動し、独立した2系統の液圧回路を有すること。ブレーキの踏みぬけのような事態が発生した時にそれを検知しエンジンを停止させるオーバートラベルスイッチを装備。

【主な競技要件】 Competition Requirements

- ①静的競技のうちコストと設計については、所定のコストレポートと設計レポートを大会の約2ヵ月前提出を義務づけ。
- ②車検に合格し、車検ステッカーが貼られた車両でなければ、プラクティス走行および動的イベントに参加できない。
- ③動的競技は、一人のドライバーが二つまでの競技を運転することができる。エンデュランスと共に燃費も評価するが、これは一つの競技としてカウントする。一つの競技で4回走行する際は、二人のドライバーが2回ずつ走行する。

参考：今大会は65チームを上限とし、事前に提出するデザインレポート、コストレポートの内容による書類選考を行う。デザインレポート（デザインシベックシート含む）、コストレポートの未提出チームは書類選考不通過とみなす。書類選考不通過チームは本大会期間中に行われるフォローアッププログラム参加、専用ピットでの車両展示が可能である。

FISITA賞 FISITA Award for Best Endeavour【提供:FISITA(国際自動車技術会連盟)】
Best Endeavour (1位:500ユーロ)

経済産業大臣賞
Minister of Economy, Trade and Industry Award
動的競技、静的競技の総合優勝

国土交通大臣賞
Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Award
安全技術、環境技術、新技術の総合優勝

静岡県知事賞
Governor of Shizuoka Prefecture Award
静的競技、動的競技(エンデュランス除く)、安全人間工学、騒音、軽量化の総合評価1位

日本自動車工業会 会長賞 JAMA Chairman Award【提供:日本自動車工業会】
設計安全、衝突安全、軽量化努力、燃費、騒音、スポーツマンシップ等の評点をもとに総合得点
1~6位(1位:20 2位:15 3位:10 4位:7 5位:5 6位:3)

総合優秀賞 Spirit of Excellence Award【提供:イータス】
全競技総合得点1~6位(1位:20 2位:15 3位:10 4位:7 5位:5 6位:3)

静的優秀賞 Spirit of Static Event Award【提供:小野測器】
静的競技総合得点1~6位(1位:9 2位:7 3位:5 4位:4 5位:3 6位:2)

コスト賞 Cost Award【提供:共和電業】
コスト・製造審査の1~3位(1位:5 2位:3 3位:2)

プレゼンテーション賞 Presentation Award【提供:東洋ゴム工業】
プレゼンテーションの1~3位(1位:5 2位:3 3位:2)

デザイン賞 Design Award【提供:サイバネットシステム】
設計審査の1~3位(1位:10 2位:6 3位:4)

加速性能賞 Acceleration Award【提供:住友ゴム工業】
加速性能の1~3位(1位:5 2位:3 3位:2)

スキッドパッド賞 Skid-Pad Award【提供:横浜ゴム】
スキッドパッドの1~3位(1位:5 2位:3 3位:2)

オートクロス賞 Autocross Award【提供:ブリヂストン】
オートクロスの1~3位(1位:5 2位:3 3位:2)

省エネ賞 Fuel Economy Award【提供:小野測器】
燃費の1~3位(1位:5 2位:3 3位:2)

耐久走行賞 Endurance Award【提供:無限MUGEN/M-TEC】
耐久走行の1~3位(1位:10 2位:6 3位:4)

ルーキー賞 Rookie Award【提供:VSN】
国内外FSAE大会初参加チームの全競技総合得点1~3位(1位:10 2位:6 3位:4)

CAE特別賞 CAE Award【提供:日本総研ソリューションズ】
CAE技術を効果的に活用している1~3位(1位:5 2位:3 3位:2)

ユニークデザイン特別賞 Unique Design Award【提供:住友スリーエム】
設計において工夫・苦心している1~3位(1位:5 2位:3 3位:2)

グッドフレームデザイン賞 Good Frame Design Award【提供:プレス工業】
優れたフレーム設計の1~3位(1位:5 2位:3 3位:2)

スポーツマンシップ賞 Sportsmanship Award【提供:自動車技術会】
最もスポーツマンシップの評価が高いチーム(1位:5)

ベストWebサイト賞 Best Web Site Award【提供:ウェブアイ】
優れたチームWebサイトの3チーム(総額:10)

ASME Japan賞 ASME Japan Award【提供:アメリカ機械学会 日本支部】
チーム運営が優れたチーム(1位:4)

ベストスタイリング賞 Best Styling Award【提供:オーテックジャパン】
高い評価を得た意匠デザイン(1位:5 2位:3 3位:2)

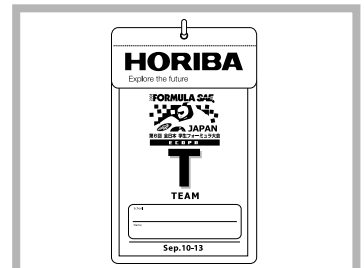
New Thinking賞 New Thinking Award【提供:レノボ・ジャパン】
新しい発想が設計や製作に採用されている(1位:ワークステーション1台)

(注)順位に記載の数値単位:万円

特典

第4回FISITA Formula SAE World Cup(*1)への出場権および出場支援金1万ユーロ。
総合優秀賞1位に授与。辞退の場合は次の順位とする。【提供:FISITA】

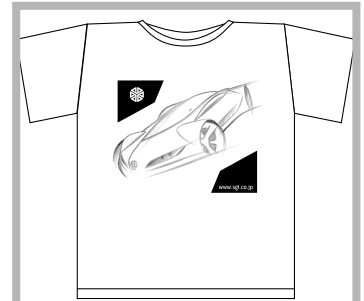
(*1)Formula SAE Australasia(2008年11月、オーストラリア)で併催予定



バスケース
堀場製作所提供



大会Tシャツ
エイヴィエルジャパン提供



大会Tシャツ
日本SGI提供



大会Tシャツ
バックプリント共通

協カスポンサー

- 会場: 静岡県
小笠山総合運動公園
- ドリンク: アサヒ飲料
- 計測器・溶接機器・その他
: ブリヂストン、小野測器、日本大学、
堀場製作所、東日製作所、
トヨタ自動車東富士研究所
本田技研工業マイスタークラブ
ヤマハ発動機、静岡理科大学

参加チーム【車両スペック】

Participating teams (vehicle specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension (Front & Rear)	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
1	上智大学 Sophia University	Red	Steel tube space frame	CFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod with stabilizer	2823 mm 1098 mm 1560 mm 1150 mm 1100 mm	220 kg 47:53 29mm	7 inch wide 1 pc Mag Rim 180/510-13 DR8 Bridgestone
2	国土館大学 Kokushikan University	White / Black	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2750 mm 1090 mm 1700 mm 1200 mm 1175 mm	223 kg 48:52 50 mm	RS.Watanabe Mag EIGHT SPOKE Bridgestone 180/510-13
3	金沢大学 Kanazawa University	Blue	4130 chromoly spaceframe	Wet lay-up CFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod with stabilizer	2650 mm 1130 mm 1600 mm 1150 mm 1150 mm	210 kg 45:55 30 mm	13inch RAYS TE37 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
4	東京大学 The University of Tokyo	Metallic blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2440 mm 1090 mm 1650 mm 1200 mm 1150 mm	255 kg 47:53 50 mm	13inch RAYS 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
5	芝浦工業大学 Shibaura Institute of Technology	Black	Front and rear Tubular space frame	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-Arm. Pull rod actuated vertically oriented spring and damper Rear : Double unequal length A-Arm. Push rod actuated transversely oriented spring and damper	2778 mm 999 mm 1650 mm 1200 mm 1200 mm	215 kg 50:50 30 mm	13inch RAYS 20.0x6.0-13 Bridgestone
6	京都大学 Kyoto University	Dark blue / Black	Aluminum spaceframe	CFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2800 mm 1100 mm 1650 mm 1200 mm 1200 mm	220 kg 45:55 50 mm	13inch RAYS 180/510-13DR8 Bridgestone Slick
7	静岡大学 Shizuoka University	Orange & Black & Green	Steel spaceframe	CFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2360 mm 1110 mm 1650 mm 1300 mm 1280 mm	215kg 50:50 40mm	13inch RAYS TE37 180/510-13 Bridgestone Radial
8	大阪市立大学 Osaka City University	Orange & Black & White	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2615 mm 1152 mm 1600 mm 1300 mm 1250 mm	230 kg 45:55 40mm	13inc Hayashi street 180/510-13 BRIDGESTONE
9	近畿大学 Kinki University Osaka	Black	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2759 mm 1202 mm 1600 mm 1180 mm 1160 mm	230kg 47:53 40mm	13inch RAYS Volk Racing 180/510-13 Bridgestone Bias
10	東海大学 Tokai University	White & Blue	Frame and CFRP monocoque structure	CFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2845 mm 1050 mm 1600 mm 1300 mm 1300 mm	210kg 45:55 35 mm	RAYS TE37 13inch 6J YOKOHAMA Y801 160/515-13
11	ホンダテクニカルカレッジ関東 Honda Technical College Kanto	White Red Black	Steel spaceframe	Poly-carbonate	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2382 mm 1010.4 mm 1525 mm 1164 mm 1190 mm	150 kg 50:50 35 mm	10inch Douglas 18.0x6.0-10 Hoosier Bias

車両スペックは、2008年6月に提出されたものであり、大会車両と異なるケースもあります。

Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
2003 YAMAHA YZF-R6 5SL1 600cc 102.3ps/12500rpm 68.1 N m/7500rpm	Naturally Aspirated 7L	Manual	FCCTRAC limited slip differential	Front:2 outboard Rear:2 outboard Willwood Dynapro Single Billet Caliper	<ul style="list-style-type: none"> • Chassis damper • 3rd damper • Resonance Supercharging Collector • Dry sump • Rear Wing • Under tray
PC37E HONDA CBR600RR 599cc 95.9ps/9000rpm 8.4kgf/6500rpm	Turbocharged 4.9L	Manual	Chain Torsen	Front:2 outboard Rear:2 outboard Tokico calipers	Dual Injection System Turbocharger
2005 YAMAHA YZF-R6 599cc 75ps/8000rpm 6.3kgf · m/8000rpm	Turbocharged 5.5L	Electric shifter	Chain drive, Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard AP calipers	<ul style="list-style-type: none"> Dry sump Variable Nozzle Turbine Turbocharger Twin Injection Semi-active Suspension Student Designed ECU Brake Control System Traction Control System
P506 SUZUKI Skywave650 604cc 87ps/6700rpm 9.6kgf/6300rpm	Turbocharged 6.0L	CVT	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	<ul style="list-style-type: none"> Electronically-controlled CVT Side-mounted engine Turbocharger Electronically-controlled rear wheel steering system Carbon crash-box
PC37EHONDA CBR600RR 600cc 63ps/10500rpm 5.8kgf/7500rpm	Naturally Aspirated 6.5L	Manual lever/ linkage/ cable	Chain /CuscoLSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	
YAMAHA YZF-R6 599cc 87.4ps/12000rpm 5kgf/10000rpm	Naturally Aspirated 5.6L	Manual	ChainTorsen	Front:2 outboard Rear:2 outboard Willwood calipers	
SUZUKI GSX-R600 K4 599cc 120ps/13000rpm 7.1kgf/10800rpm (No Restrictor)	Naturally Aspirated 5.0L	Electric actuated paddle shifter ("SUMtronic")	Shaft & F.C.Ctrack	Front:2 outboard Rear:2 outboard Brembo calipers	Side-Engine layout
Kawasaki ZX600-N1 599cc 79ps/10000rpm 6.0kgf/9000rpm	Naturally Aspirated 5.2L	Manual	Chain Drive F.C.C TRAC	Front:2 outboard Rear:2 outboard Tokico calipers	
EX-500 500cc 60ps/6800rpm 5.0kgf/4500rpm	Naturally Aspirated 6.0L	Manual	Chain Drive Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Fuel injection systems & electric shifter
GSX-R600(K-5) 599cc 107ps/ 13000rpm 6.4kgf /11000rpm	Naturally Aspirated 6.0L	Manual	Shaft FCCTRAC	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	
HONDA CRF450X 490cc 55ps/9000rpm 5.1kgf/7000rpm	Naturally Aspirated 4.0L	Manual	Chain F.C.C LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard AJP Dual piece calipers	<ul style="list-style-type: none"> Single Cylinder Engine Fuel Injected Big Bore Piston Full floating Differential Light Weight Vehicle

参加チーム【車両スペック】

Participating teams (vehicle specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension (Front & Rear)	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
12	大阪大学 Osaka University	Lime green & Black	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2810 mm 1145 mm 1680 mm 1200 mm 1200 mm	220 kg 50:50 40 mm	13inch RAYS 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
13	宇都宮大学 Utsunomiya University	Green	Steel spaceframe	C-FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod with stabilizer	2745 mm 1040 mm 1650 mm 1200 mm 1190 mm	215 kg 45:55 42mm	ENKEI 13inch & BRIDGESTONE 180/510-13 Bias
14	明星大学 Meisei University	Black & yellow	aluminum honeycomb monocoque with steel rear frame	G-FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2830 mm 1120 mm 1650 mm 1200 mm 1200 mm	220kg 40:60 40 mm	13inch Racing service Watanabe 21.0 x 6.0 13 180/510-13 BRIDGESTONE Bias Slick
15	武蔵工業大学 Musashi Institute of Technology	Blue	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2520 mm 1100 mm 1585 mm 1250 mm 1220 mm	165 kg 45:55 50 mm	10inch RS Watanabe Mag EIGHT SPOKE Hoosier ROAD RACING 18.0 x 6.0 R25B
16	金沢工業大学 Kanazawa Institute of Technology	Red / White	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Aluminum alloy arm Double unequal length Pull rod	2460 mm 1150 mm 1630 mm 1200 mm 1200 mm	280kg 45:55 50 mm	13 inch Magnesium alloy wheel 6.0J offset ±0 180/510-13
17	神奈川工科大学 Kanagawa Institute of Technology	White & Blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2780 mm 1100 mm 1710 mm 1220 mm 1200 mm	210 kg 49:51 35 mm	13inch RS Watanabe 160/515-13 YOKOHAMA Bias
18	横浜国立大学 Yokohama National University	Wine Red & Black	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2600 mm 1000 mm 1650 mm 1250 mm 1220 mm	210kg 45:55 50mm	10inch Douglas 18.0/6.0-10 Hoosier
19	首都大学東京 Tokyo Metropolitan University	Blue & Black	Steel spaceframe	CFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2600 mm 1100 mm 1550mm 1120 mm 1120 mm	185 kg 50:50 50 mm	13inch WORK 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
20	慶應義塾大学 Keio University	White & Red	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2550 mm 930 mm 1530 mm 1250 mm 1200 mm	170 kg 40:60 26 mm	13 inch RAYS TE37 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
21	日本大学理工学部 College of Science and Technology, Nihon University	Tricolore	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2678 mm 1065 mm 1600 mm 1190 mm 1170 mm	200 kg 40:60 40 mm	13inch RAYS TE37 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
22	千葉大学 Chiba University	Black & Orange	Steel spaceframe	Aluminum and GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2720 mm 1115 mm 1600 mm 1200 mm 1200 mm	230 kg 51:49 36 mm	13inch RAYS TE37 180/510-13 BRIDGESTONE Bias

車両スペックは、2008年6月に提出されたものであり、大会車両と異なるケースもあります。

	Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
	ZX600P 599cc 62ps/9500rpm 5.6kgf/8000rpm	Naturally Aspirated 6.5L	Manual	Chain Drive FCCTRAC	Front:2 outboard Rear:2 outboard Tokico calipers	Third damper, resonator, Anterior-Posterior Symmetric & Liner Suspension System
	PC40E HONDA CBR600RR 599cc 85ps/10500rpm 6.5kgf/8000rpm	Naturally Aspirated 6.5L	Electric Shifter with paddle clutch	Chain Drive/ F.C.C. TRAC	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Dry Sump Diffuser Carbon Prepreg Dual Injection System Half-Trip Intake
	HONDA CBR600RR PC37E 599cc 51 [69]/11,500 (kW [PS] /rpm) 51 [5.2]/7,500(N·m [kg·m] /rpm)	Naturally Aspirated 6.0L	Manual	Chain Drive Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard brembo calipers	aluminum honeycomb monocoque
	HONDA CRF450X PE06E 498cc 40ps/9000rpm 4.2kgf/6300rpm	Naturally Aspirated 4.2L	Manual	Chain F.C.C TRAC	Front:2 outboard brembo calipers Rear:2 outboard Nissin calipers	Fuel Injection Engine
	PC35E HONDA CBR600F4i 599cc 51kW/10,300min ⁻¹ 61.0N·m/7,050min ⁻¹	Naturally Aspirated 5.5L	Electric actuuated shifter /Manual	Chain Drive	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Aluminum suspensions Original wheel
	PC35E HONDA CBR600F4i 599cc 79ps/11000rpm 64Nm/8000rpm	Naturally Aspirated 6.6L	Manual	Shaft&LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Brembo calipers	Two-block structure, shaft drive, start-off- system
	PC37EHONDA CBR600RR 600cc 85ps/11000rpm 5.5kgf/9000rpm	Naturally Aspirated 7L	Manual	ShaftTorsen	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Paddle Shift Original design Handle
	PE06E HONDA CRF450X 450cc 55.1ps/9000rpm 5.12kgf/7000rpm	Naturally Aspirated 3.8L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	
	L404 SUZUKI LT-R450 450cc 50ps/9000 rpm 5.0kgf/7000 rpm	Naturally Aspirated 6.3L	Electric Shifter	Chain drive Spool	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Monoshock Suspension
	PC35E HONDA CBR600F4i 600cc 77ps/12000rpm 5.5kgf/8000rpm	Naturally Aspirated 5.5L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Brembo calipers Rear:2 outboard Beringer calipers	Digital Meter Mg Uplight
	PC37E HONDA CBR600RR 599cc 70ps/11000rpm 4.8kgf/7000rpm	Naturally Aspirated 5.0L	Manual	Chain FCC TRAC	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	Aluminum Cowl

参加チーム【車両スペック】

Participating teams (vehicle specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension (Front & Rear)	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
23	Yeungnam University	Yellow body & Black frame	Steel spaceframe (1020 drawing steel tube)	Vacuum forming C-FRP, PC	Front : Double unequal length A-arm Pull rod auni-roll bar Rear : Double unequal length A-arm Push rod auni-roll bar	2430 mm 1330 mm 1580 mm 1150 mm 1100 mm	280kg 45:55 70mm	Volk 6.5 inch wide, 25mm neg. offset 20x6.0-13 R25A Hoosier
24	Southern Taiwan University	Red	Steel spaceframe	Carbon Firbe	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2600 mm 985 mm 1530 mm 1145 mm 1145 mm	180 kg 40:60 30 mm	10inch keizer 18.0 x 6.0-10 Hoosier
25	茨城大学 Ibaraki University	Red & Black	Steel spaceframe	GFRP	Front : Double unequal length A-arm Push rod Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2890 mm 1205 mm 1600 mm 1150 mm 1150 mm	220 kg 40:60 45 mm	13inch RACING SEARVICE Watanabe 185/510-13 BRIDGESTONE Bias
26	岡山大学 Okayama University	Black	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2740 mm 1100 mm 1600 mm 1140 mm 1200 mm	225 kg 50:50 65 mm	13inch RAYS TE37 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
27	名古屋大学 Nagoya University	Perl white	Steel spaceframe	CFRP (carbon fiber reinforced plastic)	Front & Rear : Double unequal length non parallel A-arm push rod	2682 mm 1008 mm 1650 mm 1200 mm 1200 mm	220 kg 45:55 45 mm	13inch RAYS 20.5 x 5.5-13 Hoosier
28	名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology	Blue	Steel spaceframe	GFRP	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2423 mm 1200 mm 1600 mm 1100 mm 1100 mm	155kg 47:53 50mm	10inch Douglas ATV Wheel 18.0 x 6.0-10 R25B Hoosier
29	東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology	Blue & White	Steel spaceframe	GFRP	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2796 mm 1092 mm 1600 mm 1200 mm 1200 mm	215 kg 43:57 40 mm	13inch RAYS 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
30	豊橋技術科学大学 TOYOHASHI UNIVERSITY of TECHNOLOGY	Blue / White / Black	Carbon fibre monocoque	CFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2750 mm 940 mm 1750 mm 1200 mm 1200 mm	195 kg 46:54 40 mm	13inch RAYS Front 20.5 x 6.0 Rear 20.5 x 6.0 Hoosier Bias
31	静岡理工科大学 Shizuoka Institute of Science and Technology	Leyton Blue	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length non parallel A-arm Pull rod with MR damper	2900 mm 1000 mm 1550 mm 1100 mm 1100 mm	170kg 40:60 40mm	13inch RAYS TE37 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
32	同志社大学 Doshisha University	Purple & White	Steel spaceframe	GFRP	Front : Double unequal length A-arm Push rod Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	3034 mm 1082 mm 1600 mm 1200 mm 1200 mm	230 kg 42:58 55 mm	13inch RSwatanabe 160/515-13 YOKOHAMA
33	立命館大学 Ritsumeikan University	Black & Red	Steel spaceframe	FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2650 mm 1165 mm 1650 mm 1200 mm 1200 mm	225 kg 46:54 65 mm	13inch RAYS TE37 180/510-13 BRIDGESTONE Bias

車両スペックは、2008年6月に提出されたものであり、大会車両と異なるケースもあります。

Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
HONDA CBR600F4i 600cc 103.5ps/9300rpm 21.99Kg*m/8900rpm	Garett GT12 turbo charger 8.3L	Manual Paddle shifter	chain, CV joint & FCC Trac LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Willwood calipers	Blue tooth module, Turbo charger, TCS
HONDA CBR600F4i 600cc 75ps/11500rpm 5.4kgf/7000rpm	Naturally aspirated 6.5L	Manual & Electronic control	Univance LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Brembo calipers	monoshocks suspension
SUZUKI GSR600 600cc 72kW/12000rpm 64.7Nm/9600rpm	Naturally aspirated 6.0L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Brembo calipers	Caseless differential Unit Actuated hand shift
Kawasaki ZX600-N1 599cc 105ps/11000rpm 6.8kgf /7500rpm	Turbocharged 6.0L	Electric shifter	Chain drive Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Turbocharger Paddle Shift
PC40E HONDA CBR600RR 599cc 73ps/8500rpm 6.5kgf/7500rpm	Naturally aspirated 5.5L	Manual	Chain Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Diffuser No Rear Bulkhead Structure LSD
J321E YAMAHA WR450F 470cc 39.8ps/7450rpm 3.9kgf/7100rpm	Naturally aspirated 5.3L	Manual	Chain drive, LSD	Front:2 outboard Willwood calipers Rear:1 inboard Nissin calipers	Light Weight Viecle
PC37E HONDA CBR600RR 599cc 70ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally aspirated 5L	Electric semi automatic shifter	Chain FCCTRAC	Front:4 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Electric shifter Original steering rack-and-pinion
PC37E HONDA CBR600RR 599cc 80.1ps / 12100rpm 5.2kgf-m / 9200rpm	Naturally aspirated 7.0L	Manual	SURETRAC limited slip differential	Front:2 outboard Rear:2 outboard Brembo calipers	carbon fibre monocoque
RL41L SUZUKI LT-R450 include ATHENA bore up kit 490cc 50kw(65ps)/9000rpm 55Nm/5000rpm	Super Charged 7L	5-spd Sequential Manual	Chain drive Torsen LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	Single Cylinder with Supercharger and Variable damping by MR Damper
ZX-6RR 599cc 72.1ps/9500rpm 5.0kgf/8000rpm	Naturally aspirated 6.0L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Brembo calipers	Fiber-bamboo Stabilizer
2008 Kawasaki ZX-6R 599 cc 73ps/12800rpm 5.1kgf/8200rpm	Naturally aspirated 7.2L	Electric shifter	Chain Drive & Mechanical LSD	Front:2 outboard Nissin calipers Rear:2 outboard Tokico calipers	Side Frame Fire Extinguisher Roll Structure

参加チーム【車両スペック】

Participating teams (vehicle specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension (Front & Rear)	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
34	名城大学 Meijo university	no data	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2535 mm 1100 mm 1525 mm 1120 mm 1120 mm	180 kg 48:52 50 mm	10inch RS Watanabe Hoosier
35	ホンダテクニカルカレッジ関西 Honda Technical College Kansai	white & red	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2800 mm 1234 mm 1630 mm 1300 mm 1200 mm	220 kg 44:56 52.3 mm	13inch RS Watanabe 180/510-13 BRIGESTONE Bias
36	大同工業大学 Daido Institute of Technology	Turquoise blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2650mm 1225mm 1540mm 1200mm 1100mm	160kg 43:57 50mm	10inch DOUGLAS ATV 18.0/6.0-10 HOOSIER Bias
37	ものづくり大学 Institute of Technologists	Dark blue	Steel spaceframe	CFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2870 mm 1090 mm 1660 mm 1250 mm 1230 mm	230 kg 45:55 30mm	13inch RAYS TE37 165/60R13 DUNLOP SLICK Radial
38	岐阜大学 Gifu university	Purple	Steel spaceframe	G-FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2700 mm 1150 mm 1600 mm 1200 mm 1200 mm	205 kg 45:55 50 mm	13inch RAYS TE37 Hoosier
39	九州工業大学 Kyushu Institute of Technology	Red	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2853 mm 1184 mm 1700 mm 1160 mm 1160 mm	270 kg 45:55 60 mm	13inch RAYS VOLKRACING 165/55R13 ADVAN A005
40	東京理科大学 Tokyo University of Science	Black & Pink	Steel spaceframe	CFRP GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2860mm 1115 mm 1700 mm 1200 mm 1200 mm	220 kg 50:50 30 mm	13inch RS Watanabe 180-510-13 BRIDGESTONE Bias
41	山梨大学 University of Yamanashi	Black	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2835 mm 1170 mm 1660 mm 1200 mm 1180 mm	298 kg 42:58 50 mm	13inch RAYS TE37X 175/60 R13 YOKOHAMA ADVAN A048
42	福井大学 University of Fukui	Orange / Black	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2800 mm 960 mm 1800 mm 1300 mm 1300 mm	230 kg 45:55 65 mm	13inch RAYS 160/515-13 YOKOHAMA Bias
43	神戸大学 Kobe University	Blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2810 mm 1136 mm 1680 mm 1200 mm 1200 mm	250 kg 45:55 47.3 mm	13inch RS Watanabe Hoosier
44	高知工科大学 Kochi University of Technology	Black	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double wishbone a-arm outboard Rear : Double wishbone a-arm push rod	2530 mm 1130 mm 1815 mm 1240 mm 1240 mm	200 kg 40:60 50 mm	13inch rayz volk te37 175/55/13 yokohama advan neova

車両スペックは、2008年6月に提出されたものであり、大会車両と異なるケースもあります。

	Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
	YAMAHA WR450F J321E 449cc 27.5[37.4](kW[PS])/8500rpm 33[3.4](Nm[kgf])/7500rpm	Naturally aspirated 3.1L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard	Fuel Injection, Compact, Original Steeringwheel, Original throttle body
	PC37E HONDA CBR600RR 599cc 120ps/11500rpm 6.7kgf/8000rpm	Turbo Charger 6.5L	Mechanical Paddle Shift	Chain Drive F.C.C TRAC	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Original Oilpan
	J326E YAMAHA WR450F 450cc 60ps/9000rpm 5.4kgf/6500rpm	Naturally aspirated 4.0L	Manual	Chain Lock	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	
	PC40E HONDA CBR600RR 600cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7000rpm	Naturally aspirated 6.5L	Manual	Chain Drive Mechanical LSD F.C.C TRAC	Front:2 outboard Rear:2 outboard WilWood calipers	2unit frame
	SUZUKI GSR600K6 600cc 72kW/12000rpm 64.7Nm/9600rpm	Naturally aspirated 5.0L	Manual	Chain Drive FCCTRAC	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	Electrical Shift Floating Rotor Electrical Water Pump
	PC35EHONDA CBR600F4i 600cc 75ps/11500rpm 5.4kgf/7000rpm	Naturally aspirated 10L	Manual	Chain Drive F.C.C TRAC	Front:2 outboard Rear:2 outboard Brembo calipers	handbreke
	PC37EHONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally aspirated 6.0L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Under panel
	N730 SUZUKI GSR600 600cc 72ps/9000rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally aspirated 6.5L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Exhaust catalyst
	Suzuki GSR600K7 599cc 89ps/12500rpm 6.1kgf/9000rpm	Naturally aspirated 5.8L	Manual	Chain drive & FCCTRAC	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Conical Intake Front Suspension System
	ZX600-K1 KAWASAKI ZX6RR 600cc 69ps/11000rpm 6.3kgf/8450rpm	Naturally aspirated 6.5L	Manual	Chain drive Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard	
	I404 suzuki It-r450 450cc 53ps/8000rpm 4.8kgf/6500rpm	Naturally aspirated 7.0L	Manual	Chain Drive	Front:2 outboard Nissin calipers Rear:1inboard yamaha rmz front calipers	long wheel base

参加チーム【車両スペック】

Participating teams (vehicle specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension (Front & Rear)	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
45	成蹊大学 Seikei University	Blue & White	Steel spaceframe	FRP	Front & Rear : Double unequal length non parallel A-arm Pull rod	2585mm 1225mm 1600mm 1200mm 1200mm	230kg 45:55 50mm	13inch RAYS TE37 160/515-13 YOKOHAMA Bias
46	信州大学 Shinshu University	Red	Steel spaceframe	FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2650mm 1100mm 1550mm 1200mm 1200mm	250kg 40:60 50mm	13inchi 5.5J/110/38 YOKOHAMA ADVAN A005
47	久留米工業大学 Kurume Institute of Technology	White navyblue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double wishbone A-arm pull rod Rear : Double wishbone A-arm push rod	2804mm 1050mm 1650mm 1220mm 1230mm	250 kg 49:51 38 mm	13inch RAYS TE37 180/510-13 BRIDGESTONE bias
48	京都工芸繊維大学 Kyoto Institute of Technology	Black and white	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double wish born Push rod	2100 mm 1200mm 1600 mm 1150 mm 1100 mm	160kg 45:55 55mm	10inch SUZUKI ATV LTR 450 Hoosier
49	大阪産業大学 Osaka Sangyo University	no data	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2920 mm 1140 mm 1700 mm 1200 mm 1200 mm	260kg 45:55 50 mm	13inch RAYS TE37 160/55-13 ADVAN A005
50	工学院大学 Kogakuin University	Blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	1188mm 1640 mm 1200 mm 1200 mm	250 kg 40:60 60 mm	13inch RAYS 175/60R13 ADVAN A048
51	福井工業大学 Fukui University of Technology	Blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2667 mm 1228 mm 1600 mm 1100 mm 1100 mm	275 kg 48:52 70 mm	13inch RAYS TE37 YOKOHAMA A048 SS 180/505R13
52	Kusan National University	Gray	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2700 mm 1050 mm 1600 mm 1400 mm 1380 mm	240 kg 40:60 50 mm	13inch VOLK 170/515R13 KUMHO
53	秋田県立大学 Akita Prefectural University	White & Red	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2868mm 1100mm 1700mm 1200mm 1100mm	240 kg 47:53 45mm	13inch ENKEI 180/510-13 BRIDGESTONE Bias Slick
54	北海道大学 Hokkaido University	Black & Red	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2350 mm 1100 mm 1600 mm 1300 mm 1250 mm	270 kg 40:60 50 mm	RS.Watanabe Mag eight spoke 18.0/6.0-10 Hoosier Bias
55	九州産業大学 Kyushu Sangyo University	Silver	Steel spaceframe	FRP	Front : Double unequal length A-arm Push rod Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2700mm 1300mm 1600mm 1200mm 1150mm	260kg 37:63 50mm	13inch RSWatanabe Mg Bridgestone 510/130 13

車両スペックは、2008年6月に提出されたものであり、大会車両と異なるケースもあります。

	Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
	PC40EHONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally aspirated 7.0L	Manual	Chain drive Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Side damper Adjustable Pedal Mold steering gearbox Actuated hand Shift Adjustable exhaust manifold Dual injection
	PC37EHONDA CBR600RR 600cc 75ps/11500rpm 5.4kgf/7000rpm	Naturally aspirated 6.0L	Manual	Chain Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Hi-strength- FRP
	LT-R450 SUZUKI Quad RACER R450 450cc 29ps/6000rpm 4.8kgf/5500rpm	Turbo-charger 5.5L	Manual	Chain drive, Connecting directly differential	Front:2 outboard Rear:2 outboard Brembo calipers	Turbo-charger single sylinder engine,Side undertray
	SUZUKI LT-R450 L401 450cc 53ps/9000rpm 51.9N/7000rpm	Naturally aspirated 5.3L	Manual	Chain Limited slip	Front:2 outboard Rear:1 inboard Brembo & Tokico calipers	Semi-dry sump
	KAWASAKI ZX600PE 599cc 78ps/11500rpm 5.5kgf/7001rpm	Naturally aspirated 6.0L	Manual	Chain Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Brembo calipers	
	PC37E HONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally aspirated L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Brembo calipers	
	PC35E HONDA CBR600RR 599cc 75ps/11500rpm 5.4kgf · m/7000rpm	Naturally aspirated 7.0L	Manual	Chain F.C.C.TRAC	Front:2 inboard Rear:2 inboard Brembo calipers	compact Differential Low-cost Frame
	PC35EHONDA CBR600F4i 600cc 75ps/11500rpm 5.4kgf/7000rpm	Naturally aspirated 6.0L	Electrical	ShaftTorsen & LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard wilwood calipers	Surge Tank(Made by RP) Custom Shocks Electrical Cluth Tip Tronic
	PC37EHONDA CBR600RR 600cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally aspirated 5.0L	Manual	Chain Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Dry sump
	PC40 HONDA CBR600RR07 599cc 43PS/11500rpm 36Nm/9500rpm	Naturally aspirated 5.0L	6 speed sequential MT /Fuel cut	Chain F.C.C. LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	wide track "Turn-buckle"
	Kawasaki ZX-6R 599cc no data no data	Naturally aspirated 7L	Mechanical Paddle shift	Chain Torsen F.C.C trac	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Original sheet Paddle shift Dual injection High hardness frame

参加チーム【車両スペック】

Participating teams (vehicle specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension (Front & Rear)	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
56	日本大学生産工学部 College of Industrial Technology Nihon University	Dark blue & Pink	Steel spaceframe	Fiber- glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2850 mm 1180 mm 1650 mm 1170 mm 1100 mm	250 kg 45:55 50 mm	13inch RAYS 160/55 YOKOHAMA NEOVA
57	崇城大学 Sojo University	Black & Silver	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	3000 mm 1225 mm 1600 mm 1200 mm 1200 mm	300 kg 40:60 48 mm	13inch 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
58	日本工業大学 Nippon Institute of Technology	Metallic blue	Steel spaceframe	FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	3100 mm 925 mm 2000 mm 1200 mm 1200 mm	50 mm	10inch Watanabe Mg wheel 20.5/6.0-13 20.5/7.0-13 R25A Hoosier
59	Thapar University							
60	Laxmi Devi Institute of Engineering and Technology	Racing Blue and White	Steel spaceframe	Fiber- glass	Front : Double unequal length A- arm Rear : Double unequal length A- arm Push rod activated horizontally oriented spring mounted shock absorber	2750 mm 1030 mm 1620 mm 1230 mm 1220 mm	Under Calculations Target Values. 1) 175 Kg (without driver) 2) 37:63 3) 75mm	13"self fabricated alloy wheels. Goodyear Eagle G-19 slicks 13/6.5.
61	M.H.S.S. College of Engineering	Black	Steel spaceframe	Al sheet metal.	Front : Double wishbone suspension, with unequal length control arms, adjustability and outboard dampers. Rear : Double wishbone suspension with drag links, adjustability and outboard dampers.	2370 mm 1032 mm 1582 mm 1270 mm 1220 mm	350 kg 40:60 63.5 mm	Front: 13 x 5 inch Aura wheels with 155/70 or 185/60 JK tyres. Rear: 13 x 5.5 inch Aura wheels with 185/60 JK
62	Tongji University	Red	Steel spaceframe	Fiber- glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm	2800 mm 1260 mm 1714 mm 1382 mm 1287 mm	300 kg 40:60 50 mm	no data
63	Donghua University							
64	M.S.Ramaiah Institute of Technology	Black with saffron, white, blue, green	MS spaceframe	Fibre plastic	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2000 mm 1570 mm 1640 mm 1380 mm 1680 mm	320 kg 40:60 120 mm	13 inch 165/65 R13 MRF ZTX ZVTS
65	Indian Institute of Technology Madras	Black	Steel spaceframe	Fiber Reinforced Plastic	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2800 mm 1110 mm 1760 mm 1200 mm 1200 mm	250 kg 40:60 60 mm	13 Inch 20" x 7.5" -13" JK tyres
66	Iran university of science & technology (Arak branch)							

車両スペックは、2008年6月に提出されたものであり、大会車両と異なるケースもあります。

Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
PC35EHONDA CBR600F4i 600cc 70ps/10500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally aspirated 5.0L	Manual	Chain drive F.C.C TRAC	Front:2 outboard Rear:2 outboard Brembo calipers	
PC40E 2007 HONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf·m/8500rpm	Naturally aspirated 7.0L	Manual	Chain Drive	Front:2 outboard Brembo calipers Rear:1 inboard Tokiko calipers	Nothing
PC35E HONDA CBR600RR 600cc 75ps/11500rpm 5.4kgf/7000rpm	Naturally aspirated 20L	Shifter	Chain Drive	Front:2 outboard Rear:2 outboard Brembo calipers	
no data	no data	no data	no data	no data	no data
Yamaha R6 600 598cc 92bhp/8000rpm 43.8ft-lbs/11,500rpm	Naturally aspirated 6L	Manual	Chain Drive, with sprocket mounted torsen differential.	Front:Disc brake Rear: Axial Braking	Self Modified Carbuerettor for increased fuel economy
2005 HONDA CBR600RR 600cc 55hp/7500rpm(approx.) 52N-m/6000rpm(approx.)	Naturally aspirated Approximately 8 L	Manual	Torsen rear differential with chain drive and custom rear sprocket.	Front&Rear: 2 single piston outboard calipers. KBX calipers	Custom intake and exhaust design,Custom differential casing, Adjustable suspension,Programmable engine management system,Simple and low cost construction
no data	no data	no data	no data	no data	no data
no data	no data	no data	no data	no data	no data
Maruti 800, Modified 585cc	Naturally aspirated 8.5L	Manual	ShaftTorsen	Front&Rear: 2 outboard KBX calipers	
05' HONDA CBR600RR 600cc 53bhp/11000rpm 5.7kgf/7500rpm	Naturally aspirated 10L	Manual	Quaife chain drive	Front:2 outboard Rear:2 inboard Bosch calipers	
no data	no data	no data	no data	no data	no data

参加チーム【車両スペック】

Participating teams (vehicle specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension (Front & Rear)	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
67	埼玉工業大学 Saitama Institute of Technology	White & Green	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2300 mm 760 mm 1737 mm 1106 mm 1106 mm	300 kg 40:60 70 mm	13inch YOKOHAMA RAYS VOLK 165/60R13 Neova
68	トヨタ名古屋自動車大学校 Toyota Technical College Nagoya	White	Steel spaceframe	Fiber-glass Stainless steel panel	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2550 mm 1375 mm 1700 mm 1200 mm 1200 mm	245kg 45:55 50 mm	13inch FIN SPORT YOKOHAMA ADVAN A048 175/50R13
69	北九州市立大学 University of Kitakyushu	Blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2600 mm 1386 mm 1560 mm 1200 mm 1200 mm	no data	13inch RAYS 13inch Bridgestone
70	山形大学 Yamagata University	Black & Red	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2600 mm 1150 mm 1600 mm 1150 mm 1150 mm	190 kg 45:55 80 mm	10inch RS Watanabe 18.0 x 6.0-10 R25A Hoosier
71	Vnr Vignana Jyothi Institute of Engineering and Technology	Red	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Push rod with anti roll bar Rear : Double unequal length A-arm Push rod	1750 mm 800 mm 1500 mm 800 mm 1000 mm	350 kg 45:55 3inches	13 *6 inch alloy wheels & hoosier racing slicks
72	東京工業大学 Tokyo Institute of Technology	Black, white, red & blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2350 mm 1125 mm 1650 mm 1200 mm 1200 mm	270 kg 40:60 50 mm	13inch wheels & Continental Tires
73	湘南工科大学 Shonan Institute of Technology	Blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2500 mm 1205 mm 1600 mm 1200 mm 1200 mm	250 kg 45:55 60 mm	13inch
74	Guru Gobind Singh Indraprastha University							
75	大阪工業大学 Osaka Institute of Technology	Blue / White	Steel spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double equal length A-arm Push rod	2850mm 1175mm 1700mm 1200mm 1250mm	250 kg 35:65 35mm	13inch RAYS TE37 FJ 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
76	Institute of Automotive Engineers Sri Lanka							
77	King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang							

車両スペックは、2008年6月に提出されたものであり、大会車両と異なるケースもあります。

Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
PC40E 600cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/8500rpm	Naturally aspirated 7.5L	Manual	Chain Drive	Front:2 outboard Rear:1 inboard	simple & safety
NC20E GB400 480cc 34ps/7500rpm 3.4kgf/6000rpm	Naturally aspirated 6L	Manual	Chain Drive	Front:2 outboard Rear:2 outboard	Long wheel base
Kawasaki ZX-6RR 599cc 123 PS/ 14,000 rpm 6.8 kgf · m/ 12,000 rpm (from catalog data)	Naturally aspirated	Manual	Chain Drive	Nissan MOCO	
HONDA CRF450X 449cc	Naturally aspirated 3.5L	Manual	Chain FCC TRACK	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	
Yamaha R6 600cc 131.15HP(95.7kW)/14500rpm 68.00Nm(6.9kgf·m or 50.2 ft- ib)/6930rpm	7.5L	Manual	Shaft and simple differential	Front:Disc brakes Rear:Disc brakes	frame design , mounting of the fuel tank , variable intake system, design of the drivers cockpit, unique differential gear ratios ,suspension design and the bodywork of the car .
PC37E/HONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm(from catalog data) 5.1kgm/8500rpm(from catalog data)	Naturally aspirated 7L	Manual Shift	Chain drive Rigid diff	Front:2 inwheel Rear:1 inboard	Electrical water pump
J404E BC-SJ04J 500cc 38PS/7,500r/min 4.6kgf.m/4500r/min	Naturally aspirated 8L	CVT	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard	
no data	no data	no data	no data	no data	no data
SUZUKI GSX-R600 k8 600cc 125ps/13500rpm 7.0kgf/11500rpm	Naturally aspirated 5.0L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	wide cockpit
no data	no data	no data	no data	no data	no data
no data	no data	no data	no data	no data	no data

チームメンバーとスポンサー

Team members and sponsors

1 上智大学

Sophia University

■メンバー

(CP)小野泰志, 矢野博之, 伊藤大輔, 小田康隆, 泉隼太, 藤倉恭平, 内藤洋輔, 小室香菜子, 高山有美子, 前田翔平, 池澤圭, 門倉章太, 増谷亮, 関塚紘子, 若林充, 山本浩敬, 安彰柱, 柴崎正也, 大須賀慶秀, 松本優, 安藤直行, 藤永博, 利谷洸貴, 中福辰禎, 飯島利恵子, 爲頼春奈, ペドゥソーオリヴィエ健, 津島夏輝, 佐藤広基, 奥村守生, 中野友祐, 堀千里都, 井形健太郎, 保泉彩香, 郷かをり, 熊見大佑, 小崎伸也, 大沼照美, 新井勇亮, (FA)鈴木隆, 小栗康文



■車の特徴とチームの抱負

軽量化・商品性を考えた基本に忠実な設計のもと、世界と戦える車両SR07が完成しました。そして考え抜かれた部品・チーム全員が1つになった時、3連覇を成し遂げることが出来ると確信しています。

■スポンサー

ヤマハ発動機, PTCジャパン, アンシス・ジャパン, Honda Racing, 日本キスラー, トヨタ自動車, 東邦テナックス, プリチストーン, レーシングサービスワタナベ, 大和製衡, コンティネンタル・オートモーティブ, 日産ディーゼル, ジーエーティー, The Math Works, NTN, 岡島パイプ製作所, エムエスシーソフトウェア, ミヤコ自動車工業, アルケー・エキセル, ダイナテック, 東洋ゴム工業, 茂原ツインサーキット, 東京アルアンドデー, 東北ラヂエーター, 古河スカイ, モーターテクノロジー, 第一音響, ケイ・ジー・ティー, ベステックス, 横河電機, エフ・シー・シー, THK, スリオンテック, ダウ化工

2 国士舘大学

Kokushikan University

■メンバー

(CP)小田博之, 川村敦, 大比良優介, 古御堂尚雅, 山元脩平, 松本祥, (FA)児玉知明



■車の特徴とチームの抱負

「KU-007」では、コース走行における競争力を身につけるために、低重心、エンジンパフォーマンスの向上を狙いました。目標は総合優勝です。

■スポンサー

アルケー・エキセル, AVO/MoTeC Japan, エムエスシーソフトウェア, エムズファクトリー, カルソニックカンセイ, GOODRIDGE(JAPAN), ケーヒン, シティカート, ソリッドワークス・ジャパン, ターボテクノエンジニアリング, 竹内化成, 中央発條, デイトナ, ティラド, 東洋エレメント工業, 日発精密工業, 日本キスラー, 水戸工業, 日立製作所オートモーティブシステムグループ, フルーエント・アジアパシフィック, VSN, 本田技研工業, ミノルインターナショナル, 柳下技研, やまと興業, リバースチール(鋼管部), レーシングサービスワタナベ, 和光ケミカル, プリチストーン

3 金沢大学

Kanazawa University

■メンバー

(CP)齋藤浩一郎, 飛鳥井貴弘, 五十嵐佳介, 今村太郎, 岩崎真人, 尾上貴洋, 小松祝, 清水健一, 林慧太郎, 福井龍也, 池田洋平, 太田電司, 渋谷康祐, 西岡高将, 丹羽康人, 宮川忍, 宮本訓兄, 安井潤一郎, 山下拓真, 石田陽一, 泉浩平, 大葉裕人, 加藤千博, 川地洋史, 寺本幸司, 永宮翔吾, 中山裕隆, 南部朋子, 町田絢香, 高橋恭平, 平松倫直, 前田泰良, 佐藤航, 本卦太郎, 吉本竜太, 蔵本祐太郎, 嶋田和真, 山本芳苗, 大西一樹, 堀川一樹, 西悠介, 林祐太, (FA)榎本啓士



■車の特徴とチームの抱負

ドライバーをサポートするための電子制御, エンジン出力向上のためのデバイス, 軽量化を進めるための材料, 低重心化のための世界初の試みなど, 新規開発項目を積極的に投入, 昨年の悔しさを今大会で晴らします。

■スポンサー

ヤマハ発動機, 高松機械工業, タカサーキット, カドコーポレーション, 谷田合金, ハネウェルジャパン, PFU, 北国新聞, NTN, 古河スカイ, 愛三工業, IBS, アルインコ, RS.SANSAI, アルテクノ, 石川工業高等専門学校, 石原金属化工, 宇野酸素, ヴァンワークス, SP忠男, 江沼チエン製作所, エムエスシーソフトウェア, オーエスジー, 大浦解体, 岡島パイプ製作所, 加藤カム技研, 金沢工業会, 金沢大学, 金沢大学技術支援センター, 金沢大学工学部, キノクニエンタープライズ, 木下製作所, 草島ラジエーター工業所, グロウス, ケインズパフォーマンスエンジニアリング, 小松鋼機, 澤村電気工業, SUNSTAR, 三洋化成, ジーエス・ユアサ, パワーサプライ, ジーエーティー, スズキ, 住友重機精機販売, 鈴永工芸社, セントラル硝子, ソリッドワークス・ジャパン, Dynojet北陸, 太平洋, 茶谷鉄工所, テクノマックス, データダイナミクス, 電通国際情報サービス, 東罐マテリアル・テクノロジー, 東日製作所, 轟産業, ナオックス, 長山耳鼻咽喉科医院, ニシムラジグ, ニッソーサービス, 日信工業, 日平トヤマ, 日本オイルポンプ, 日本データシステム, 日本特殊陶業, 日本ペイント, 芳賀木型金型製作所, 馬場化学工業, 阪神ネジ, 日向製作所, 富士シャフト, プリチストーン, プレニー技研, プラスミュー, プロト, ホクショー商事, ボッシュ, マツダレンタリース石川, ミスミグループ, 三菱電機, モータースペースMRプロジェクト, 森田工業, レイズ, ロックファスナー, 和光ケミカル, Chr.Mayr GmbH + Co.KG, 加賀電装

4 東京大学

The University of Tokyo

■メンバー

(CP)秋元健太郎, 菊池篤徳, 海藤広峻, 岩崎成記, 岡本拓之, 五月女真大, 水野朗, 堀内裕明, 安原清英, 小松大河, 恩田祐輔, 久米絢佳, 川合潤, 後藤健太郎, 柴田祐介, 白井拓磨, 鈴木良孝, 中島亮, 岡田あゆみ, 甲斐奨也, 北村遼平, 小石瑛文, 梯百合子, 小井出真聡, 澤田武男, 柴崎智佳, 田健太郎, 趙惟恒, 佃勇佑, 寺内悠, 橋本竜太, 原田創一朗, 松村英治, 森遼太, 守屋渉, 安江秀夫, 石川真達, ウトラヌソソウェアチャラポン, 小川耕平, 加藤弘樹, 佐藤雅史, 高島成也, 瀧勇也, 田邊裕之, 中岡卓也, 藤原慎之輔, 松岡寛, 松本光輔, 池山喜勇, 中山周 (FA)草加浩平



■車の特徴とチームの抱負

ターボチャージャー搭載3年目、さらにセッティングを煮詰めました。今年度は旋回性の向上に力を注いでいます。ターボ+CVTのパッケージで優勝を狙います。

■スポンサー

アールケー・エキセル,NTN,エフ・シー・シー,エンジニア,オーファ,加藤カム技研,キノクニエンタープライズ,協和工業,神戸製鋼所,サイバネットシステム,サンキン,三恵工業所,三共,シーディー・アダプコ・ジャパン,ジュニアモーターパーク クイック羽生,昭和電工,昭和飛行機工業,シリコンセンシングシステムズジャパン,スズキ,スズキスポーツ,ゼロスポーツ,ダウ化工,THK,DRS,東亜ディーケーケー,東都化成,東邦テナックス,東洋測器,ナオックス,ニッサン・モータースポーツ・インターナショナル,日信工業,日東紡績,日本ビューテック,日本ユテック,日置電機,BASFコーティングスジャパン,ファーストモルディング,不二WPC,フジクラ,フチノ,ブリヂストン,ブリッツ,ボッシュ,丸一鋼管,ミスミ,三菱ふそうトラック・バス,水戸工業,ムトーエンジニアリング,メイラ,ヤマテ工業,やまと興業,ヤマハ発動機,UGS PLMソリューションズ,ヨシムラジャパン,依田ラーニング,ロックファスナー,和光ケミカル,AVO MoTec Japan,オリジナルボックス,関東工業自動車大学校,SiFo,テクニカルプロショップ 単車屋,東京工科自動車大学校世田谷校,東京大学生産技術研究所 試作工場,日本自動車大学校



■車の特徴とチームの抱負

車両コンセプトは「誰でも速く」。ドライバーの能力に頼らずとも速い車両を目指して開発を行いました。低重心で無駄のない設計が特徴です。目標は、すばり優勝です。

■スポンサー

アールケーエキセル,秋山製作所,アルファ,アローレーシングサービス,井頭モーターパーク,伊藤忠テクノソリューションズ,牛久製作所,ウメオカ,エスピーエアー,エッチ・ケー・エス,NTN,エヌテック,エムエスシーソフトウエア,エム技研工業,遠藤木型,押坂工業,木村バルサ,キャロッセ,協栄産業,クイック羽生,黒坂鍍金工業所,ケーアール工業,ケーヒン,小林機工,高速電気,小林技工,サイバネットシステム,三晃製作所,ジーエーティー,ソフトウェアアクレイドル,タイヤ館T5岩槻,太陽ステンレススプリング,大楨精機,TGテクニカ,東京R&D,東京チタニウム,津留崎製作所,特殊技研,所沢軽合金,東洋測器,中島工機,日産ディーゼル,日新鋼管,日信工業,日本軽金属,ハイレックスコーポレーション,ブリヂストン,フィアロ,プリテック,本田技研工業,三菱ふそうトラック・バス,ミノルインターナショナル,柳下技研,山下ゴム,ユタカ技研,横河工事,ライコランド埼玉,リョービ,レイズ,和光,和光ケミカル,ファクトリーI,T,O

■車の特徴とチームの抱負

アルミフレームとカーボンという京大フォーミュラの特徴をそのままに、随所に改良を加え、過去最高の車輛を作りあげることが出来ました。パーツ全てに、設計者の「最高の物を作りたい」という心意気が詰め込まれています。今年の京大に死角はありません。もちろん狙うは表彰台の頂点です。

■スポンサー

森精機製作所,ヤマハ発動機,JTEKT,住友電工ハードメタル,神戸製鋼所,NTN,古河スカイ,ブリヂストン,タイヤボックスエポルブ,デンソー,琵琶湖スポーツランド,住友電装,川崎重工業,ウミヒラ,テクノイルジャパン K.K.FUKUDA,太陽機械工業,山岸本舗,井尾製作所,田中製作所,富士電機ホールディングス,ヤンマー,スリオンテック,ソリッドワークスジャパン,京都医療器械サービスセンター,サイバーネット,エフ・シー・シー,コンテック・ラボ,東邦シートフレーム,日信工業,速見矯正歯科,マツダ葵会

7 静岡大学

Shizuoka University

■メンバー

(CP)笹澤雅志,市川玄人,飯塚啓,山口健太郎,小宮山和希,大力崇弘,藤森光明,井口拓,江藤大希,福原久雄,穴井一也,鶴飼和将,浜崎佑樹,野々村知美,岡田展大,斉藤勇樹,野場圭佑,増田裕貴,松川達哉,増田和也,森戸龍仁,剣持明弘,松本哲典,平城真太郎,内藤良介,田頭大悟,服部一孝,石井克典,樋上勝多郎,加藤大貴,藤森宗章,秋山秀夫,安斎恵,植松和徳,海野公則,大江拓也,木村憲尚,近藤博文,高井隆成,高柳広人,高山裕輔,出口裕樹,福路直大,松下一英,森下誠,山村尚人,平松伸康,板津典彦,山村麻人,対馬主樹,(FA)福田充宏

6 京都大学

Kyoto University

■メンバー

(CP)鯨岡絵理,佐々木正法,堀内亮,村田雄一,山本亮,名和亮輔,似吹大,田浦剛,弘栄介,上田智史,今莊和也,上田治明,正富祐貴,釜江典裕,塚本翔太,吉田和希,河野良明,丹下翔太,余田拓矢,岩崎秀保,青木翔吾,川村誠,高橋円,高橋忠将,藤井一穂,中澤知哉,中川涉,鍛冶本昌孝,埴淵千誉,陳美伝,藤井拓磨,植野大輔,武田智行,永田啓介,森彩子,(FA)横小路泰義,山路伊和夫



■車の特徴とチームの抱負

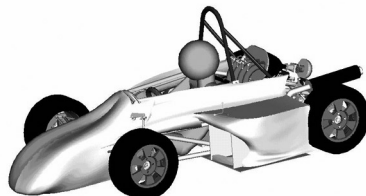
昨年、アクセラレーション3位のエンジンパワーをそのままに、サイドエンジン特有の左右差を解消するマシンになりました。今年は加速度だけでなく、乗りやすさ、旋回性能も追及したSS-608"浜風"で表彰台を狙います！

5 芝浦工業大学

Shibaura Institute of Technology

■メンバー

(CP)植村卓範,林建太郎,糸井祐太,橋本陽亮,吉澤徹,佐藤弘次,佐藤雄輔,高橋秀生,藤健一,細井雅規,本間勝治,小川直人,香取裕人,小田元,齋藤総司,清水良憲,中島駿,秋葉康司,富谷侑加,山本安里,高橋眞正,岩田覚,永井宏和,堀内翔太,前川彰秀,水谷友祐,(FA)岡村宏



チームメンバーとスポンサー

Team members and sponsors

■スポンサー

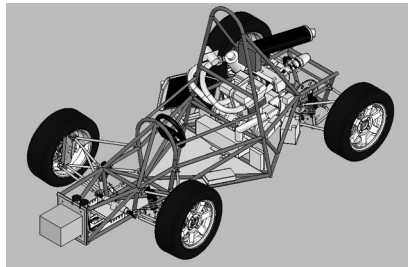
スズキ、スズキスポーツ、NTN、和光ケミカル、シーディー・アダブコ・ジャパン、ソリッドワークス・ジャパン、古河スカイ、J F E スチール、アンシス・ジャパン、サイバネットシステム、榛葉鉄工所、三菱自動車エンジニアリング、NRS、エフ・シー・シー、レイズ、アクティブ、エヌ・エム・ビー販売、ユタカ技研、プリチストン、ミノノイサイクル、戸塚綜業、川柳商店、マルイチ、東日製作所、ダウ化工、アネブル、ヘンケルジャパン、ユーエス、サイアン、オムロン、東洋測器、モーターパーク・クイック、デイトナ、ニッソーサービス、コンチネンタル・テベス、遠州日石、浜松鉄工機械工業協同組合、中央発明研究所

9 近畿大学

Kinki University Osaka

■メンバー

(CP)山村洋介、寺田佳祐、阪本太志、岡崎和也、小坂昌史、向井康晴、出口清崇、牧野誠司、梨原雄飛、小城智哉、寛貴一、小林俊文、大知純、松枝浩史、井ノ上裕、大路真史、長瀬健、松本悠、小森幸徳、富田浩平、林孝哉、小室克己、橋詰恵治、名生尚史、中條智裕、足立悠真、辻勇樹、岸稔、岸田拓也、江東真也、埴岡俊希、津川正直、(FA) 梶原伸治



■車の特徴とチームの抱負

今大会では「表彰台に上がる」ことをチーム目標とし、どんな時でもあきらめない車両作りを行ってきました。2気筒エンジンのよさを最大限に活かしたコンパクトなKFR-05で、どのチームよりも速くコースを駆け抜けます！！

■スポンサー

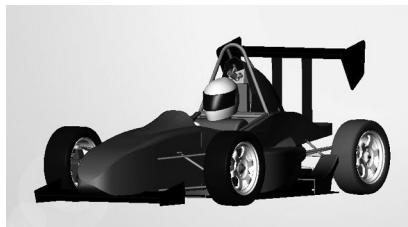
川崎重工業、ダイハツ工業、マツダ、ケーヒン、名阪スポーツランド、日ポリ加工、ニッコー熔材工業、レイズ、プリチストン、大同工業、ダイヘン、日信工業、東京アールアンドデー、NTN、サンスター技研、ソリッドワークスジャパン、三宅工業、やまと工業、今中鋼材、ハードロック工業、礎、ロックファスナー、VSN、ラストラダ、孝安産業、旭電工、ニッソーサービス、コスモスジャパン、電通国際情報サービス、ウエストレーシングカーズ、高澤製作所、ササキネジ、倉橋商店、エクセル貿易、マエダオートモービル、光スロッター工作所

10 東海大学

Tokai University

■メンバー

(CP)櫻井康智、末永充史、関本祐太郎、三好優斗、野村昌弘、佐藤将仁、石川貴大、米満竜太、高木進太郎、仁木達郎、富永正和、斉藤浩央、大石寛人、(FA)向井恒三郎



■車の特徴とチームの抱負

私達Tokai Formula Clubのメンバーはこの活動を通して自動車に関する知識を積極的に学び、これによって得た知識から実践的なものづくりを体験することで講義だけでは得られない実践力を身につけ、社会に貢献できるエンジニアになることを目的として活動しています。

今年のTokai Formula Clubのマシンは、レギュレーションの販売対象に注目しコンセプトを『心動』として開発を行いました。商品を製造し、いかに買っていただくか、それは心を動かすような圧倒的な第一印象ではないかと考えました。

初めて目にしたときの印象、初めて運転したときの感動、初めてメンテナンスしたときの感触。

ユーザーのすべての動作に対して心が動かされるような車両を実現します。

そして目標の『日本大会優勝』を実現します。

■スポンサー

スズキ、トムス、ミスミ、やまと興業、ミネベア、グッドリッチジャパン、NTN、ANSYS、サイバーネットシステム、シーディーアダブコジャパン、深沢製作所、及川製作所、エヌ・イー、横浜ゴム、日進工業、レント、ナップス伊勢原店、ガレージ茶畑、AVO/MoTeC Japan、トタル・ルブリカンツ・ジャパン、Pronto配線コム、日立産機システム、ソリッドワークス・ジャパン、ACCEL、コイワイ、日本ヴェーテック、川崎北ロータリークラブ、フェデラルモーグル、鈴村製作所、住鋤潤滑剤、FCC、エキスパートパワーシズオカ、ONE OF ONE、日産自動車、本田技研工業

11 ホンダテクニカルカレッジ関東

Honda Technical College Kanto

■メンバー

(CP)小侯直樹、柏崎翔太郎、小林竜二、斉藤真也、田口索、堤新一郎、原琢磨、藤田直志、鋤柄洋介、横田研二、瀧本嘉之、佐藤良輔、香取亮太、小野裕、宮澤竜也、瀬戸隆正、有ヶ谷慧、松岡数馬、内山勇志、中村公彦、廣瀬隆一郎、山之内優(FA)杉田正司

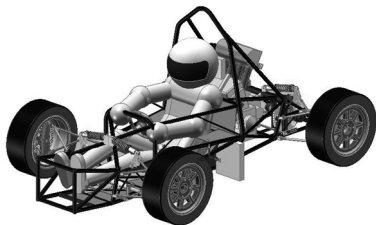


8 大阪市立大学

Osaka City University

■メンバー

(CP)柴田雅史、西村真悟、神部宏典、白井宏明、安原誠、(FA)川合忠雄



■車の特徴とチームの抱負

合言葉は「何とかなる・・・ではなく、なんとかする！」より進化した「入門用フォーミュラカー」とともに、チーム一丸となって”上”を目指します。

■スポンサー

アルミネ、出石、エービーシー商会、エフ・シー・シー、エポック、大阪試作室、川崎重工業、キーパー、キタコ、キャステム、ケーヒン、コノエ、堺カートランド、サンスター技研、昭和高分子、スエカゲツール、ソフトウェアクレイドル、ソリッドワークス・ジャパン、タイガー製作所、大東ラジエーター工業所、大同工業、ダイハツ工業、ダイヘン、タンガロイ、徳島カム、トヨタレンタリース大阪、中道工作所、日本ビート工業、ネリキガス、野口商会、浜田、ハヤシレーシング、富士精密、プリチストン、プロト、ポッシュ、和光ケミカル、co-alition、KONG's、NTN、RSタイチ、SPEED SHOP JIRO、大阪市立大学学友会

■車の特徴とチームの抱負

私たちは昨年、軽量で扱いやすいをコンセプトに、参戦三年目にして初完走・単気筒ながら総合12位という成績を残すことができました。今年は昨年のコンセプトにパワーをプラスして、エンジンのポアアップ化に挑戦します。数少ない二年制の専門学校としての参加ですが、一人ひとりが全力で挑戦し総合優勝を狙います。

■スポンサー

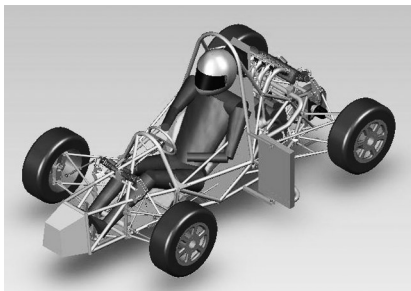
RK EXCEL, UCHIDA, ケーヒン, ジュニアモーターパーク クイック羽生, ソリッドワークス・ジャパン, DS川越 2りんかん, パール技研, PANAMETAL TECHNOLOGIES, 藤田商会, 本田技研工業, レインボーモータースクール, 大同メタル工業

12 大阪大学

Osaka university

■メンバー

(CP)田中慎也, 井上豪, 奥西晋一, 松本佳幸, 福井淳一, 武下肇, 生原尚季, 大山裕基, 立川雄大, 水野恵太, 池内祥人, 松浦剛, 稲井麻美子, 内田翔太, 佐々木宏二, 久堀拓人, 人見崇史, 松本拓也, 尾高佑季, 和泉恭平, 白木義彦, 後藤明之, 下浦啓, 大西健太, 井上圭亮, 渋谷梓, 早川修平, グスタボベゼーラ, (FA)吉田憲司



■車の特徴とチームの抱負

今年度は「走る. 曲がる. 止まる.」というコンセプトの下、基本に忠実に開発したシャシーと一新したパワートレインで、車両性能は大幅に向上しました。今年一年の集大成として大会では表彰台を狙います。

■スポンサー

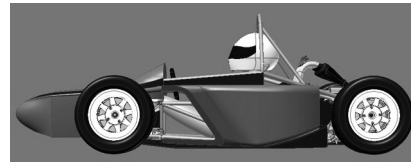
川崎重工業, ブリジストン, NTN, 国営アルミ製作所, シグナル, クワハラバイクワークス, ソリッドワークスジャパン, 住友電装, ダイハツ工業, 神戸製鋼, 宮脇鋼管, 八尾歯車, 西原産業, タイガー製作所, 大東ラジエーター, 伊丹タイヤ商会, 大阪大学, フロンティア研究センター, ムトーエンジニアリング, 横河電機, 北神戸サーキット, エフ・シー・シー, NGK, ウエダ, エムエスシーソフトウェア, ガレージMID, 京セラ, クボタ, 住之江ドライビングスクール, 十川ゴム, 日本ウェルディングロッド, フルーエント・アジアパシフィック

13 宇都宮大学

Utsunomiya University

■メンバー

(CP)上地優, 今井太一, 大島剛夫, 大和田哲也, 多田直人, 松橋洋輔, 東洋平, 瓦井寛人, 岡崎唱, 鈴木大介, 石川秀輔, 佐藤徹哉, 阿久根良斗, 木下隆太, 伊沢元貴, 篠原正俊, 岡垣百合亜, 奥山剛史, 川原田翔悟, 岩間哲子, 湯沢祐介 (FA)杉山均, 加藤直人



■車の特徴とチームの抱負

UF-06は「速・剛・美」をコンセプトに開発を行いました。

ドライサンプを始めとする新技術と経験による改良が、速さと剛さと美しさを高次元で実現しました。目標は総合優勝。エコバに緑旋風を巻き起こします!

■スポンサー

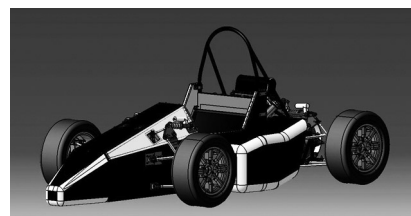
旭化成建材, ANSYS, 井頭モーターパーク, インフェック, AVO/MoTeC Japan, NTN, F.C.C., エンケイ, Autodesk, 川田工業, キノクニエンタープライズ, 計測技研, コックピット館林, サイバネットシステム, ショーワ, 昭和電工, 昭和飛行機工業, 神鋼鋼線工業, スズキ, 第一電子工業, THK, 東興ラヂエーター工業所, 栃木県産業技術大学校, トライボジャパン, 日信工業, 日本発条, 日本ブレーテック, ハイレックスコーポレーション, 日高精機, PIVOT, フィアロコーポレーション, 富士重工業, 不二製作所, 富士精密, ブリヂストン, プロト, 本田技研工業, ホンダドリーム水戸, ホンダロック, 三菱ふそうトラック・バス, 三菱レイヨン, モビリティランド, 山田製作所, ユタカ技研, ローラン

14 明星大学

Meisei University

■メンバー

(CP)夏目亮尚, 杉浦裕太, 泉福清登, 工藤雅幸, 波平拓矢, 西谷淳, 平井遼, 板倉将, 島本晋吾, (FA)亀井延明



■車の特徴とチームの抱負

私たちは、「より速く」というコンセプトで、昨年の車両をベースに開発を行いました。今年で4年目になるアルミハニカムモノコックフレームの採用と各パーツの更なる性能向上で、全動種目完走を果たし、総合成績10位以内を目指します!。

■スポンサー

ブリヂストン, CAR TOTAL ADVISER NEXT, DICO, FCC, NTN, グッドリッジジャパン(レアーズ), MYZ, RPM, トムス スピリット, 石河製作所, 三共ラヂエータ, シーケー販売, ジュニアモーターパーククイック羽生, 昭和飛行機工業, 真幸電機, ソリッドワークス・ジャパン, 日本シーカ, 本田技研工業, 有楽丸商, 明星大学 育星会(父母会), レーシングサービス ワタナベ, ロブテックス, フルキャストセントラル, トランスコスモス, ディージャック, ミツウ工業,

15 武蔵工業大学

Musashi Institute of Technology

■メンバー

(CP)佐々木光, 近藤巨, 橋本紘樹, 高橋弘治, 増田好晃, 安藤靖浩, 小林聖太, 原克幸, 岡島学, 加藤哲也, 森山翔太, 望月謙吾, 屋田憲吾, 小関一洋, 影山元太, 上地聡, 河内茂紀, 北村智章, 酒井康裕, 佐藤宏樹, 高嶋龍一, 槻木翔, 浜田昭平, 平野達也, 水野茂洋, 横田圭弘, (FA)三原雄司



■車の特徴とチームの抱負

「ドライバーフレンドリー」をコンセプトとし、ドライバーにとって優しい車作りを目指す。今年度はエンジンのF化によるパワーアップと車両の信頼性の向上を目標とし、動的審査の順位向上を目指す。

チームメンバーとスポンサー

Team members and sponsors

■スポンサー

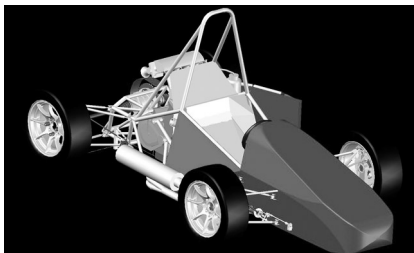
AVO/MoTeC Japan,NTN,T's Total Sports,カストロール,五島育英会,ITM,アクティブ,アネブル,井上ボーリング,イワモト,エイチ・ピー・アイ,エフ・シー・シー,キノクニエンタープライズ,恭和,協和興材,桑原インターナショナル,小山ガレージ,ジャムコ,ソケットセンター,東京アールアンドデー,東日製作所,パイオラックス,ハイレックスコーポレーション,不二製作所,富士精密,森清化工,プレンボジャパン,リトル・ガレージ,レーシングサービスワタナベ,協和工業,小原歯車工業,サイバネットシステム,ジュニアモーターパーク クイック羽生,スズキ,住鋳潤滑剤,ソリッドワークス・ジャパン,D. I. D,帝国ピストンリング,帝都ゴム,寺田製作所,東急自動車学校,東急自動車整備専門学校,東京都立科学技術高等学校,日軽金アクト,日産自動車,日産ディーゼル工業,日新鋼管,日本軽金属,日本発条,日本ユピカ,古河電池,本田技研工業,マイスタークラブ,三井生命 PMMサービス,インタースピードジャパン,鈴村製作所,スピードハウスアルファ,ラフアンドロードモーターサイクルズ 川崎店

16 金沢工業大学

Kanazawa Institute of Technology

■メンバー

(CP)西川彰彦,渡邊直弘,沼田翔太,内水智也,大西功規,近藤容章,菅居大誠,栃木偉伸,羽馬友理恵,細川徹,今井慎吾,石田和輝,上田将司,岡島嵩,岡本宗大,高坂岳,佐野真司,杉本尚輝,高橋頼弘,竹内正城,中田和志,藤田裕幹,宮下淳史,芳田悟,龍前幸太郎,安藤匡平,近藤翔太,澤崎正明,千葉泰樹,(FA)太田誠鉄,塚本義一



■車の特徴とチームの抱負

今年度は昨年の運営体制の改善に続き,マシンの設計・製作のプロセスを見直し,より完成度の高いマシンづくりができるよう取り組みました。2008年度車両KIT-08modellは,「旋回性能の向上」を目指し車両を設計製作しました。

■スポンサー

アキラック,今村摩擦圧接工業,S-GRID,草島ラジエーター工業所,TAN-EI-SYA,TOLAP,本田技研工業,BIKE ROUTE,ブリヂストン,

17 神奈川工科大学

Kanagawa Institute of Technology

■メンバー

(CP)村上奨弥,八重樫龍一,田阪晃一,古川達也,秋月信也,宮川千尋,(FA)加藤俊二



■車の特徴とチームの抱負

コンセプトは「Fun to Quick」。代々継承されてきた技術に加え,新しい技術を導入することで更なる性能の向上を達成した。総合優勝を目指します。

■スポンサー

A&M貿易, AVANT-GARDE SPORTS, 石原金属化工, いすゞ自動車, NTN, エムエスシーズンフトウェア, かつま鋼管, 神奈川工科大学, 神奈川工科大学 Formula-SAE OB会一同, インテグラル, エフ・シー・シー, 大井松田カートランド, 協和興材, ジーエーティー, ダイナテック, 東日製作所, 寶角ギヤー, ヨシムラジャパン, レーシングサービスワタナベ, 和光ケミカル, GARAGE Horino, 川崎重工業, 相模湖ピクニックランド, 自動車技術会関東支部, 新星機工, 東栄電化工業, Nissan Technical Center North America, 日鐵ドラム, 日本軽金属, 本田技研工業, ビックライダ一, 横浜ゴム

18 横浜国立大学

Yokohama National University

■メンバー

(CP)渡辺和人,篤幸太郎,北田健,国谷喜洋,木下芳人,国実曜弘,阪井啓介,曾根竜介,友岡諒介,宮原優,村山達也,山田考浩,荒木洗,荒深和志,佐々木太雅,中西真崇,道上俊,矢田宏樹,當眞尚樹,佐山勝悟,熊谷和也,吉田恭輔,近藤康之,斉藤航太,中村健太郎,相川尚輝,久保田昌幸,中山真博,清水慧,岩本千裕,前田達也,(FA)佐藤恭一



■車の特徴とチームの抱負

今年の車両であるYNFP-08はドライバーの操作に正確に素早く反応するドライバビリティのある車両に仕上げました。このマシンでポディウムの頂点を目指します。

■スポンサー

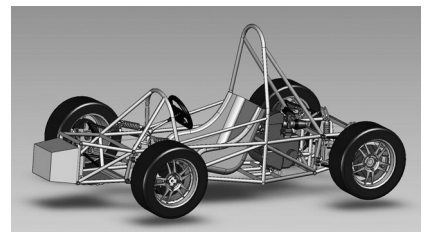
dSPACE JAPAN.MOTUL (テクノイル・ジャパンK.K.),NTN,S-GRID.エヌ・エム・ビー販売.エムエスシーズンフトウェア.オートデスク.ショーワ.小原歯車工業.サイバネットシステム.ジュニアモーターパーククイック羽生.新星機工.スーパーオートバックス横浜みなとみらい.ソリッドワークス・ジャパン.田畑ラヂエーター.ダイナテック.東京アールアンドデー.東日エートルク販売.東日製作所.とくきん.富士精密.プロト.トップラインプロダクト.トルンプ.日信工業.日本精工.日本発条.本田技研工業.アートディレクト.レーシングサービスワタナベ.ワークショップ・イトー.キヤムプレーン.三和メッキ工業

19 首都大学東京

Tokyo Metropolitan University

■メンバー

(CP)松嶋朗生,塩倉聡,寺田圭佑,山田賢二郎,田坂瑛士,河野貴,木城康仁,岩本健太郎,田中允崇,進藤涼太,富手政寛,羽場健輔,原田知尚,山本航,(FA)太田正廣,吉村卓也



■車の特徴とチームの抱負

単気筒の軽さを生かすため,各パーツの軽量化を更に磨き,またドライバビリティの追求を行うことによって,昨年よりも競争力のあるマシンへと進化しました。全種目完走,そして上位入賞を目指します。

■スポンサー

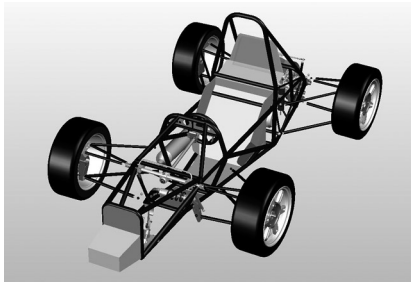
本田技研工業,日立ピアエンジニアリング,日立ピアメカニクス,ワーク,くいんと,スピニングガレージ,ソリッドワークス・ジャパン,APP,NTN,FCC,ケービン,THK,富士精密,昭和電工,JFEスチール,日信工業,エフイーティー,旭硝子ウレタン,モトロマン,ブリヂストン,クイック羽生,首都大学東京機械工学コース&工作施設

20 慶応義塾大学

Keio University

■メンバー

(CP)辻夏央, 稲田晴香, 佐藤美央, 米川伊織, 桑原克英, 北山祐希, 門岡真之, 石川太祐, 須賀貴大, 高山明正, 渡辺順平, 高屋圭介, 山口綾, 加藤彩乃, 鳥居孟史, 船越一平, 大隅俊宏, 桑山裕基, 山田泰之, 吉村秀人, 鈴木恭平, 中村翼, (FA) 飯田訓正



■車の特徴とチームの抱負

チーム史上初のエンジン変更に挑みます。関係者やスポンサーの皆様にせめてもの恩返しをするため、全動的種目での得点、総合での上位入賞を狙います。

■スポンサー

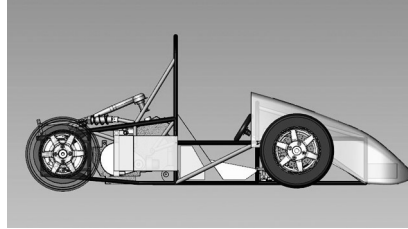
アートディレクト, アールケー・エキセル, アイコム, アクティブ, アファム・ジャパン, エモン工業, NOK, NTN, 小野測器, オムロン, キノクニエンタープライズ, クラスフォーエンジニアリング, 小原歯車工業, 互省製作所, シバックス, JFE工建, クイック羽生, 城南キー, ショーフ, スズキ, 住友電装, 積水化成成品工業, ソリッドワークス・ジャパン, ダイヘン溶接メカトロシステム, 太陽ステンレススプリング, チームルマン, THK, テイケー工業, 東横化学, トップラインプロダクト, トヨタカローラ栃木, 日産ディーゼル工業, 日信工業, 日本発条, ノーブ, ババナショックス, プラスミュー, プリチストン, プレニー技研, ヘラマンタイト, 富士精密, ポップリベット・ファスナー, 本田技研工業, 三菱マテリアル, ヤシマ, やまと興業, 彌満和製作所, ユタカ技研, ヨシムラジャパン, ラストラダ, レイズ, 和光ケミカル, 慶應義塾大学理工学部, 機械系共通実験室 実習室, 自工研OB会

21 日本大学理工学部

College of Science and Technology, Nihon University

■メンバー

(CP)丸山淳一, 清水直樹, 清水勇岐, 田中祥喬, 増子拓哉, 松崎俊宏, 宮田泳司, 伊藤真歩, 岩本貴志, 内田康明, 加藤康平, 竹下隼矢, 奈良橋大輔, 沼田淳太郎, 松田憲諭, 後藤有也, 渡邊雄貴, (FA) 堀内伸一郎



■車の特徴とチームの抱負

昨年は初年度から達成してきた全種目の完走を果たすことができませんでした。これを機に車両設計を見直し、実際の計測結果を用いてマシンの走行性能と信頼性の向上を図りました。全部門での入賞を目指します。

■スポンサー

アール産業牧, アイ・アール・エス, i-FACTORY, NTN, エフ・シー・シー, 光研電化, 小原歯車工業, 三協立山アルミ, 城南キー, 榛葉鉄工所, スズキ, ソフトウェアクレイドル, ソリッドワークス・ジャパン, 大同工業, 大同メタル工業, 太洋, 田畑ラヂエーター, デビルテクニカ, 日産自動車, 日本発条, 日本大学理工学部機械工学科, 日本大学理工学部工作技術センター, 信井電機工業, ノリタケ伊勢電子, 日立ピアエンジニアリング, VSN, プリチストン, プロト, 本田技研工業, ミノルインターナショナル, レイズ, 和光ケミカル

22 千葉大学

Chiba University

■メンバー

(CP)古知直人, 水越耕太郎, 松崎哲, 満野亮, 榎大地, 福田雄太, 柏崎大, 佐藤陽, 小澤周平, 竜崎達也, 辻千広, 永吉将人, 田辺真之, 鈴木亮, 林夢愛子, 小林佳那子, 清水貴悠, 鈴木明晃, (FA) 森吉泰生



■車の特徴とチームの抱負

昨年度のエンデュランスリタイヤの反省から、今年度は電装・潤滑系の信頼性向上と車体サイズの見直しをテーマに改良を重ねてきました。今大会では昨年度の悔しさをバネにチーム一丸となって表彰台を目指します。

■スポンサー

本田技研工業, 日本精工, プリチストン, ソリッドワークス・ジャパン, サイバネットシステム, NTN, 日信工業, レイズ, ハイレックスコーポレーション, キノクニエンタープライズ, 東日製作所, 興和製作所, エフ・シー・シー, 京葉バンド, 千葉精密, トーキン, 新宿ラヂエーター研究所, SEKI, 日栄学園日本自動車大学校, 出光興産, 葵不動産, 住友電装, 千葉大学工学同窓会

23 Yeungnam University

■Team Members

(CP)Chanseok Park, Bowon Jung, Jihun Kang, Minchang Kang, Jinhwan Kim, (FA) Dongjoo Lee



■Feature of car and express team wishes of the Competition

We are 3th participate in JSAE Competition. This year we make better race car (Equipped Turbo charger and etc). So we want the win.

■Team sponsors

CompoTek, Henkle, Dongwon metal, BOSCH, Samick THK, Valvoline, OSG KOREA, TPC, KUMHO Tire, EXR

24 Southern Taiwan University

■Team Members

(CP)Wu Chi Min, Cheng Yang Ke, Hsiao Chao Yuen, Hung Ching Hua, Tu Yuen Chih, Lin Hung Kun, Li You Yuen, Chong Jun Jie, Wu Chi-Min, Zhen Ming Hui, (FA) Wei-Chin Chang



■Feature of car and express team wishes of the Competition

A creativity monoshock suspension with lightly car weight is the main feature for this year design. From last year competition experience, either static or dynamic events, both playing important roles to win the competition. We look forward to get higher point in all the events in this year.

チームメンバーとスポンサー

Team members and sponsors

■Team sponsors

A-Belt-LinIndustrial, FOUNDER LAND, UNIVANCE CORPORATION, TAIWAN FILLERTECH, SolidWizard, LUEN JIN Enterprise, FINCTION ELECTRIC, KIND SHOCK HI-TECH, TAIWAN MOTOTRSPORS & RECREATION

25 茨城大学

Ibaraki University

■メンバー

(CP)重松史明, 杉浦亮太, 桑田英憲, 原田直輝, 丸橋光秀, 渡邊修弥, 井上良一, 上野翔子, 那須亮太, 清水治, 松永翔吾, 高見 勇斗, 川添和人, 田村勇人, 齋藤渉, (FA)西野創一郎



■車の特徴とチームの抱負

昨年に引き続きケースレスデファレンシャルユニットを採用しました。また、クッションを3次的に配置しました。チームの抱負は、全種目参加、エンデュランスでの完走、そして総合入賞です。

■スポンサー

スズキ, 本田技研工業, ソリッドワークスジャパン, ブリヂストン, カドワキ, 茨城県経営品質協議会, 宮本製作所, 南海部品 水戸店, 河村製作所, 東ブレ, NTN, レーシングサービスワタナベ, フジヤマ, ウエストレーシングカーズ, 日立製作所 オートモーティブシステムグループ, 北関東ラヂエータ, 日本ケーブル・システム, 日立電線, 砂押精工, 小峰製作所, 日立ゲージ, 水戸工機, トーホー, ラストラダ, テイケー工業, 瀬谷精機製作所, KR&トレンドカサマレーシング, パーカーコーポレーション, 村田工業所, アラキヤ, スバルコ R&D 和氣製作所, サイクルショップイマイ, 日立産機システム, 住鋳潤滑剤, 山野井精機, 大同精機, アート科学, 香陵住販, ケイズスポーツリンク, エフ・シー・シー 南高野医院, 北川製作所, JWVAY, エフテック, Pronto 配線コム, プラスミュー, 茨城トヨタ, SEKI, THK, ダイノジェット東関東, 茨城大学

26 岡山大学

Okayama University

■メンバー

(CP)大浦佑介, 青田寿大, 上田篤史, 家守進, 藤谷宇, 鬼丸裕美, 河田良介, 小林ミカ, 高橋直也, 板野光司, 佐々木祐太, 澤田雅人, 飛子 和紀, 二川卓也, 平山浩基, (FA)河原伸幸



■車の特徴とチームの抱負

今年度は「加速力・旋回性能の向上」をコンセプトとし、昨年度車両の正常進化版としてターボチャージャーの搭載、軽量化などに取り組みました。チームの悲願であるトロフィーの獲得、総合10位以内を目指します!

■スポンサー

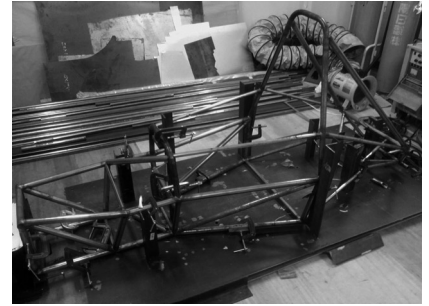
内山工業, 川崎重工業, 岡山国際サーキット, アントライオン, 石原ラジエーター工業所, エーモン工業, NTN, エフ・シー・シー, 岡山科学技術専門学校, オスコ産業, 倉敷化工, 山陽レジン工業, スズキ, ショーワ, ソリッドワークス・ジャパン, ダイハツ工業, テイクオフ, D.I.D, テクノイルジャパンK.K., 東京オールアンドデー, 東日製作所, DOWAテクノエンジ, トヨタテクニカルディベロップメント, 日信工業, 日本レンタカーサービス, 日本キスラー, 福島化工, ブリヂストン, 三国工業, 三菱自動車水島製作所, 三菱マテリアルツールズ, ミスミ, レイズ, ライドオン岡山, ヤスヒラ, 岡山大学工学部, 岡山大学創造工学センター

27 名古屋大学

Nagoya University

■メンバー

(CP)佐々木健雄, 高橋愛, 西田円, 西條元大, 高井康勢, 足土広祐, 中村直寛, 浅田祐介, 中原弘貴, 長谷川直紀, 鹿野高瑛, 今井俊幾, 小野邦宏, 鈴木秀明, 富田直哉, 栗山公平, 染矢貴之, 久保田康平, 大野高明, 西本雄俊, 埴原昭信, 伊藤拓哉, 鈴木 創介, 水野竜馬, 城野賢二, 奥村幸弘, 上野香央里, 中山健太郎, 古田浩貴, 中野辰大, (FA)大日方五郎



■車の特徴とチームの抱負

FEM-05は”「速さ」の徹底追求”という極めてシンプルなコンセプトの元、軽量化・マス集中・高品質を念頭に、レーシングカー本来の姿を追い求め目標実現に向けてコンパティティブなマシンにする事を意識した。

■スポンサー

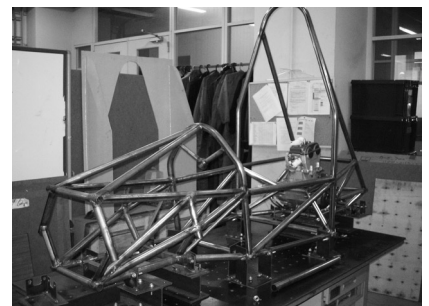
ATS, BITO R&D, CALIO, NTN, アイシン・エイ・ダブリュ, アイシン精機, アクティブ, ウェブアイ, ウメオカ, エイアンドエフ, 加藤ギヤ製作所, キノクニエンタープライズ, 共和電業, コーザイ, 住友電装, タカタサービス, テクノイル・ジャポン K.K., デュートロンジャパン, デンソー, 日信工業, 日本軽金属, 日本トムソン, ハイレックスコーポレーション, 光生アルミニウム, 日比野化学工業, ファーストモールドینگ, 藤本サービス, ホンダドリーム名古屋中央, ミノルインターナショナル, モリワキエンジニアリング, ラ・モト・コウサカ, 岡島パイプ製作所, 加藤カム技研, 興和工業所, 江沼チエン製作所, 中央発條, 東海ゴム工業, 日鉄鋼管, 日本研紙

28 名古屋工業大学

Nagoya Institute of Technology

■メンバー

(CP)上田梓, 高木竜路, 丹羽隆彦, 石川正芳, 吉良祥一, 田中梨絵, 野村円香, 畑中祥吾, 山本暁文, 中田陽介, 山田英一郎, 吉川正人, 浦川善宏, 祖父江宏祐, 天野雄介, 白田悠太, 鳥居照, 服部駿也, 松村厚, 椋本康敬, 恩田倫明, 矢野雅明, (FA)北村憲彦



■車の特徴とチームの抱負

470ccの単気筒エンジンに10inchタイヤ、煌めく蒼色のカウルに身を包んだ車両重量155kgの軽量ボディ。それがNIT Formula Project、08年度車両“NIT-06”。昨年度車両の思想を引き継ぐこの“NIT-06”は、メンバー悲願の表彰台を目指し、力の限り駆け抜けます!!

■スポンサー

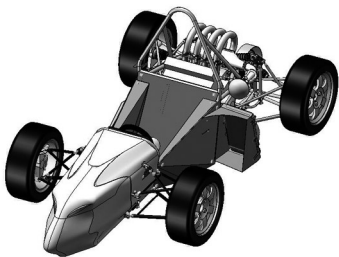
アールケー・エキセル、青山製作所、出光興産、岩倉ラヂエター商会、NTN、エフ・シー・シー、エムエスシーソフトウェア、岡島パイプ製作所、沖センサデバイス、カーライフ・レボリューション、ケー・ワン、加藤ギヤー製作所、共和電業、クラウン自動車学校、グラフティック、国華商会、サクラ工業、信濃機販、シングルハート、シンポリ、スズカ山崎ポーティング、積水化成工業、ソフトウェアクレイドル、大同メタル工業、ダイヘン溶接メカトロシステム、中央発條、ツグブラセス、デイトナ、テロゾン、名古屋工業会、成田製作所、日新鋼管、日東紡、ねこのじてんしゃ屋さん、古河スカイ、プロト、ミクニ、美浜サーキット、名東歯車、ヤマハ発動機、アクセル、カツキワークス、国美コマース

29 東京農工大学

Tokyo University of Agriculture and Technology

■メンバー

(CP)梶原雄三、成尾直樹、後藤龍一、平井駿介、山崎剛史、磯谷十蔵、清水達也、武田亘、飯塚誠、伊藤宏典、大山隆宏、小林直人、中家大希、古林盾門、山田洋平、横田有理香、帷子良樹、笹森萌奈美、佐藤雅幸、新造裕樹、藤沢繁利、(FA)道辻洋平



■車の特徴とチームの抱負

私たちは、昨年度車両をベースに、更なる改良を重ねようという意思を込め、“Re-Smart~正常進化~”というコンセプトのもとNK04を製作しました。今大会では総合成績10位以内を目指します。

■スポンサー

APP,FCデザイン,NTN,Pronto配線コム,THK,,東鋼管,ウエストレーシングカーズ,エフ・アール・ピー・サービス,エフ・シー・シー,エッチ・ケー・エス,オスコ産業,学校法人小倉学園 専修学校 東京自動車大学校,埼玉車体,ジュニアモーターパーククイック羽生,昭栄精機,住友軽金属工業,住友電装,ソフトブレン工業,ソリッドワークス・ジャパン,竹内化成,ティラド,テックイン,ニチリン,新高ギヤー,日信工業,日邦産業,日本発条,ふくろうサポート,プリチストン,本田技研工業,モリワキエンジニアリング,山口電機,ユタカ技研,レイズ,東京農工大学機友会,東京農工大学機械システム工学専攻,個人スポンサー様

30 豊橋技術科学大学

TOYOHASHI UNIVERSITY of TECHNOLOGY

■メンバー

(CP)前川浩規, 戎野由展, 東宏昭, 奥田裕也, 田中和宏, 島田卓弥, 茅野浩之, 中野裕士, 中村剛也, 石森慎弥, 我妻裕樹, 手塚康瑛, 上嶋宏紀, 岡田隆志, 草野雄也, 吉田拓矢, 渋江佑介, 菊地亮太, 松本卓也, アハマド ファテュッラ, ムハマド フィルダウス, 熊谷匡明, 赤澤直哉, 大垢祐介, 永井宏幸, 松本和男, 足立一晃, 片山景喜, 齋藤慎哉, 中谷匡宏, 乗倉昇平, 本田祐介, 石川誠人, 吉田敏宏, 竹内優斗, 太田比奈子, 篠原巧, 小澤翼, 河合勇輝, (FA)柳田秀記



■車の特徴とチームの抱負

参戦3年目である私達の目標は全競技出場し、上位入賞することです。昨年に続き軽量化を進め、かつのりやすさを兼ね備えた車両としました。

■スポンサー

武蔵精密工業,ダッド,CDS,三菱レイヨン,アシスト,エイム,ポップリベット・ファスナー,ユニバンス,豊栄工業,中央発明研究所,福玉精穀倉庫,コンティネンタル・オートモーティブ,アスモ,山武,トビー工業,ソリッドワークスジャパン,エムエスシーソフトウェア,サイバネットシステム,東日製作所,NTN,石田商店,ハントマン・ジャパン,WINKS,和光ケミカル,昭和飛行機工業,大同アミスター,レンテック大敬,東洋ゴム工業,今田製作所,マキタ,MonotaRO,中央発條,ネクスト,本田技研工業,YSP豊橋南,30周年記念事業(豊技大),情報メディア基盤センター(豊技大),研究基盤センター工作機器部門(豊技大),未来ビークルリサーチセンター(豊技大)

31 静岡理科大学

Shizuoka Institute of Science and Technology

■メンバー

(CP)高田裕太, 井上達矢, 堺和樹, 増田加世, 鈴木絵美子, 荒川亮, 伊藤祥, 小林珠恵, 鈴木啓之, 岩崎敬太, 森田佳憲, 藤航, 望月健司, 矢部洋介, 高鳥純一, 中谷優吾, 登澤大地, 種石健一, 中西正和, 要祐輔, 亀山直人, 鈴木智也, 塚本宏, 高木祐樹, 西川直利, 野田智哉 (FA)大塚二郎



■車の特徴とチームの抱負

今年で3年目になる単気筒スーパーチャージャー&MRダンパーのレイアウトを更に煮詰めつつ、各部位の徹底的な軽量化より機敏にコーナリング出来るマシンを目標としました。

製品の品質や加工性、コストカットのための努力など、チームメンバー全員が“こだわり”を持って、勝てる単気筒マシンを実現します!

■スポンサー

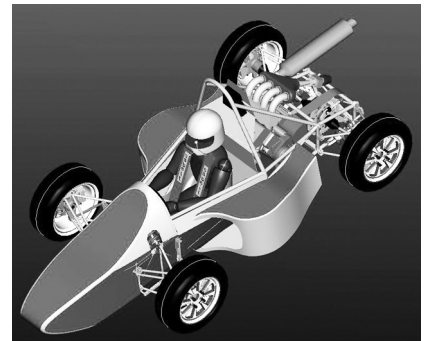
スズキ, 榛葉鉄工所, プリチストン, NTN, 小楠金属工業所, ユニバンス, LORD Coporation, E&Eシステムズ, NSKワナー, ユニクラフトナグラ, ソリッドワークスジャパン

32 同志社大学

Doshisha University

■メンバー

(CP)清水勇貴, 佐伯昭哉, 川口将彦, 羽島総一, 羽島幸司, 工藤尚敬, 魚谷隆太, 松村浩明, 内木武虎, 井上雄大, 光川真由, 望月彰人, 山中俊毅, 北山寛幸, 炭竈日加利, 湯浅拓也, 柚木一男, 江口友梨, 貴田洋輔, 植田貴昭, 廣田一優, 稲葉健造, 岩田佳明, 田中慎也, 玉置和幸, 中村和紀, 児島諒, 辻内雅人, 赤井一光, 箱丸和樹, 菊池勇太, 藤井辰則, 松尾健太郎, 高田修治, 伊藤洋輔, 石田健造, 木嶋洋成, 渡部祐樹, (FA)千田二郎



■車の特徴とチームの抱負

昨年のエンデュランスリタイヤの悔しさをバネに一年間活動をしてきました。「速くて操作性の良い車」というコンセプトを引き継ぎ、今年度は流体解析も取り入れて製作を行いました。この車両で上位入賞を目指します。

チームメンバーとスポンサー

Team members and sponsors

■スポンサー

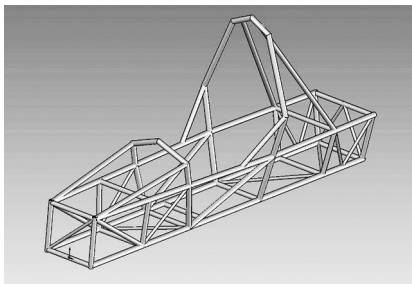
川崎重工業、堀場製作所、ソリッドワークス・ジャパン、ダイハツ工業、ノイズ研究所、東京アールアンドデー、RSタイチ京都店、神戸製鋼所、トヨタレンタリース京都、竹の高度利用研究センター、大久保ボーリング、やまと興業、サンスター技研、エフ・シー・シー、鬼頭歯車、NTN、富士通テン、横浜ゴム、レーシングサービスワタナベ、琵琶湖スポーツランド、ティラド、エクセディ、レノボ・ジャパン、プロト、浜松市布橋南風揚げ会、クリエイションオフィス春夏秋冬、井上ガーデン、GSYUASA、竹の子会

33 立命館大学

Ritsumeikan University

■メンバー

(CP)荒巻雄一、荒巻雄一、那須健一、伊丹暢彬、芝山博紀、武田和隆、葉山洋平、遠藤祐介、小林将紀、林貴大、福地聡、本田啓太、阿部 泰友、小口健太、平木伴典、粕井翔、井上和輝、伊達友祐、(FA)後藤田浩



■車の特徴とチームの抱負

私たちの今年度の車両RF005は昨年度の問題を徹底的に洗い直し、速さはもちろんのこと、安全性にも特化した車両となりました。昨年度の悔しさをバネにエンデュランス奪還を目指します。

■スポンサー

川崎重工業、琵琶湖スポーツランド、プリチーストン、NTN、ダイハツ工業、F.C.C、Solid Works Japan、ケミテック

34 名城大学

Meijo University

■メンバー

(CP)木村要、安藤俊、渡辺禎隆、手島耕平、中垣宣人、加藤友太郎、新田浩史、待田雄矢、宮崎真弥、田之上晴香、小野真秀、青山浩樹、佐藤雅巳、鈴木健二、中島彬宏、久野雅弘、平松郁宙、杉山章彦、渡辺令、(FA)早藤英俊



■車の特徴とチームの抱負

ショートホイールベース、ショートトラック、単気筒エンジンWR450Fを採用し、コンセプト「小型・軽量・一体感」を満たす車両を製作する。軽量化とコストダウンを行い、動的競技と静的競技の高成績を目指す。

■スポンサー

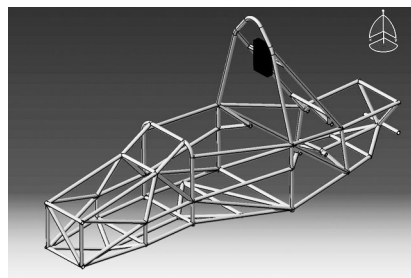
ヤマハ発動機、ヨシムラジャパン、NTN、ニチリン、RSワタナベ、三五、やまと興業、中央発條、D.I.D、ダッド、鈴覚、和光ケミカル、WADA・WELDING、レインボースポーツカートコース、井上ボーリング、ソリッドワークス・ジャパン、小山ガレージ、手島印刷、ソフトブレン工業、ミナロ

35 ホンダテクニカルカレッジ関西

Honda Technical College Kansai

■メンバー

(CP)高田平、初谷康平、井上裕貴、春田勇士、西川真、植木徹、平井浩基、宇戸俊、甲斐裕二、中野俊一、中野知樹、小楠峻巧、木南裕一郎、田中洋紀、高木穰、轟木健人、友澤俊也、坂本晃一、山下秀、(FA)中村忠能



■車の特徴とチームの抱負

1期生の経験を受け継ぎ、新設計・新製作マシンに取り組んでいる2期生の新チームです。目標は大会最高馬力でターボ化と新サスジオメトリーを採用しました。1期生を大きく上回る成績を目指します。

■スポンサー

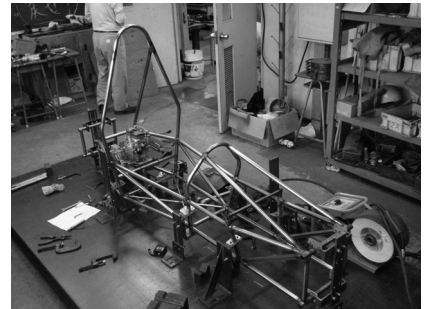
CYBER NET、fcc、msc software、NTN、WAKO'S、山王テック、単車屋、日信工業、プリジストン、本田技研工業、ぼんぼん屋

36 大同工業大学

Daido Institute of Technology

■メンバー

(CP)中嶋和人、向創、堀友行、棚橋正裕、間瀬智生、所澤良児、飯沼宣浩、岩下智和、岩瀬広幸、中神雄太、市川貴嗣、加藤高久、佐々木浩、鷹見隆清、西尾将吾、遠藤寛之、清水勇樹、(FA)鈴木桂輔



■車の特徴とチームの抱負

08年度車輛はコンセプトとしてD-fineという言葉掲げました。この言葉は「大同工業大学のD」に「最高の仕上がりを意味するfine」、さらに軽量で運動性能がよく、低価格という大同工業大学のコンセプトを「定義するDefine」からなる造語です。08年度車輛は07年度車輛の設計を引き継ぎつつ、更なる運動性能の向上と出力アップを遂げ、上位入賞を目指します。

■スポンサー

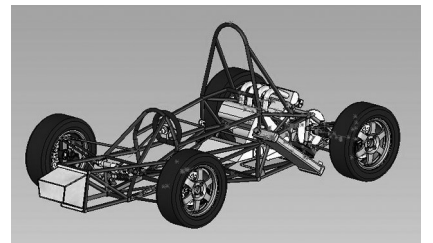
ウエストレーシングカーズ、カーライフレビュー、リレーションK-ONE、共栄タイヤサービス、協和工業、ケミテック中部、幸田サーキットYRP、桐山、三洋商店、創造創作センターソリッドワークスジャパン、中央発條、ナゴヤスチール、矢崎総業、ヤマハ発動機、FCデザイン、SiC、NTN

37 ものづくり大学

Institute of Technologists

■メンバー

(CP)西山正臣、松永真弥、酒本大地、佐藤匠、佐成弘、原田太智、箕浦豪、清水政繁、河間大、斎藤安樹、奥野憂祐、本田真一、松永健人、鶴飼岳、村中浩樹、(FA)原薫



■車の特徴とチームの抱負

私たちのマシンは初参戦から一貫してフレームに2ピース構造を採用しています。その上で各部を改良し、整備性と生産性に磨きをかけ車両の基本性能も大幅に向上させました。このマシンで上位入賞を目指します。

■スポンサー

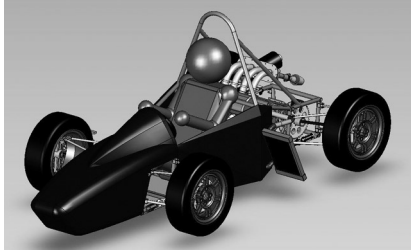
本田技研工業、岡田モータース、タイヤセレクト吹上、バイクスタッフ アリエ、ジュニアモーターパーク クイック羽生、ノルトロックジャパン、ソリッドワークス・ジャパン、関口工業、スタジオギア、SACLAM、エフ・シー・シー、NTN、フルキャスト

38 岐阜大学

Gifu University

■メンバー

(CP)柴田裕介,山本宗平,南澤清一,川勝稔,酒井宏紀,村瀬広樹,川松裕史,坂井亮太,大西克洋,村瀬大介,谷村聡史,奥村駿,滝野晃平,岡田裕希,佐藤隆太,佐分利大樹,竹中一也,濱田裕貴,堀田陽平,(FA)井原禎貴



■車の特徴とチームの抱負

今年度のマシンのコンセプトは「Faithful～忠実・信頼～」です。基本に忠実な設計製作を行い、ドライバーの意思に忠実かつ信頼性の高いマシンを生み出すことを目標にこのコンセプトを掲げました。昨年度マシンの基本設計をベースにハブやアップライト、ホイールなど構成部品全体の軽量化をはかり、車重を昨年度の215kgから5%減の205kgを目標として走行性能アップを狙います。動的種目をすべて完走し、総合成績10位以内を目指します。

■スポンサー

スズキ、樺葉鉄工所、天木鉄工、岐阜ギヤー工業、NTN、鍋屋バイテック会社、太平洋精工、日本トムソン、岩田製作所、日信工業、オンダ製作所、岡本・ナベヤ、太平洋工業、リンクスジャパン、南海部品岐阜店、アネブル、ソリッドワークス・ジャパン、フクダ精工、マキタ、中日本自動車短期大学、東日製作所、住友電装、中日本印刷、エフ・シー・シー、ピボット、プレニー技研、レイズ、WirusWin、伊藤レーシングサービス、岐阜大学工学部機械システム工学科、FCデザイン、エーヤキカイ、望月建築事務所

39 九州工業大学

Kyusyu University Of Technology

■メンバー

(CP)伊藤哲平,仲武聖仁,前田正弘,野村嘉志,池田裕介,樫淵将士,福島崇紘,三家本裕樹,大坪孝裕,小野本仁,菊池秀和,高野剛気,吉永翔一,脇田健一,田中雅巳,水元和也,外園裕隆,松本勇毅,萩原由多可,(FA)河部徹



■車の特徴とチームの抱負

今年度のマシンのテーマは「正常進化」。昨年度のマシンを元に軽量化、高剛性化を行い、より扱いやすく速いマシンを目指しました。本年度は完走、そして上位入賞を目標にして頑張ります。

■スポンサー

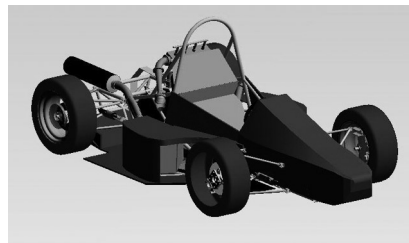
NTN, MSC Software, 高田工業所, 大豊工業, 大喜工業, ヤマナカゴーキン, マッハFC, エフ・シー・シー, プロジェクト・ミュウ

40 東京理科大学

Tokyo University of Science

■メンバー

(CP)石黒達也,茂木太郎,瀬川太郎,岡和田繁,天野陽子,北野博子,太玉千香子,今川聖,高木健児,上田啓,宮崎剛行,関諒介,中谷健志,竹中健太,鈴木貴広,米田公平,菅原敬,中村晃,杉岡廣紀,雪本善和,十時惟,平松克規,宮原亮二,宮本良彦,今村健人,鈴木一正,五味亮平,(FA)野口昭治



■車の特徴とチームの抱負

軽量・低重心・低慣性の三要素を高次元で実現すると共に、ポジションの最適化によるドライバビリティの向上をコンセプトに設計しました。全種目完走及び上位入賞を目指します。

■スポンサー

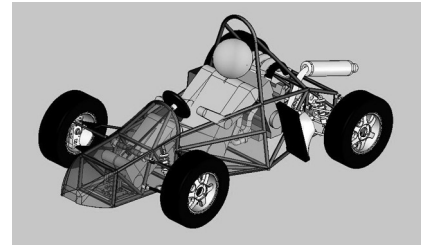
エムエフマツモト、ケーヒン、三恵技研工業、本田技研工業、TRUE BLUE、WIRUS WIN、昭立製作所、日産自動車、NTN、F.C.C、栄鋼管、エムエスシーソフトウェア、グッドリッジジャパン、東京R&D、日産スプリング、日信工業、ユタカ技研、RSワタナベ、プリチストン、新星機工、コパックス、タカツ製作所、公進ケミカル、ダウ化工、日新レジン、日邦産業、湯浅レジン工業、昭和飛行機工業、スポーツカーズ、サイバネットシステム、ソリッドワークス・ジャパン、日本自動車大学校、NATS、日本ペイント、ニッポンレンタカーサービス、日産自動車株式会社

41 山梨大学

University of Yamanashi

■メンバー

(CP)近藤和也,猿渡直洋,清水裕紀,中島和也,川上英樹,佐藤麗斗,芝田祐樹,鷹左右康,萩原雅樹,花井海斗,深見晃平,横山恵佑,渡邊貴生,砂原宏充,(FA)角田博之



■車の特徴とチームの抱負

2台目となる「YFR SHINGEN08」の車両コンセプトは「ALWAYS EXCITING」として、車両の設計製作を行ってきました。特レースカーとしての性能だけでなく、環境性能の両立を目指しています。また、昨年度車両に比べ全体の20%程度の軽量化を図っています。今大会ではエンデュランスを完走し、さらにトロフィー獲得を目指します。

■スポンサー

アール産業 牧,ウエストレーシングカーズ,AVO Japan,EIKO,NTN,エフ.シー.シー,キャタラー,グランドスラム甲府,クリフ,興国インテック,下部自動車,スズキ,セントラル硝子,ソリッドワークス・ジャパン,田村製作所,ティラド,日鉄鋼管,フューチャーズクラフト,山梨大学工学部附属ものづくり教育実践センター,レイズ,hair boutique AKIYAMA,秋山歯科,imcomplete,おがた歯科,笠井歯科,日原内科小児科,山梨工業会東海支部,クリーニング よねや,本校OB

チームメンバーとスポンサー

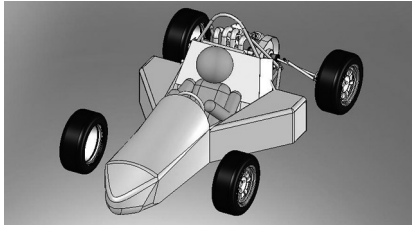
Team members and sponsors

42 福井大学

University of Fukui

■メンバー

(CP)黒岩 祐太, 高橋亮司, 石田浩高, 磯谷圭佑, 大久保勇毅, 村田龍一, 石黒貴寛, 北村良介, 平井義人, 大原悠, 畔柳将吾, 滝田真也, 伊藤準起, 奥田靖彬, 佐々木崇, 塩谷尚大, 鈴木尊之, 中村祐也, 中山道, 久嶋了資, 本井嘉浩 (FA)新谷真功



■車の特徴とチームの抱負

魂を揺さぶる加速性能! 人の心に火をつけるマシン開発を誓いコンセプトを決定しました。まずはボクたちの走りを見てもらうこと。必ずエコパでエンジンに火をつけ、皆さんの心臓に最高のエキゾーストノートを響かせてみせます!

■スポンサー

アイシン・エイ・ダブリュ工業, アルミテック, ウエストレーシングカーズ, 宇野歯車, NTN, 江沼チェーン製作所, FCC, 神戸製鋼所, ショーワ, SUZUKI, 住友ゴム工業, ソリッドワークスジャパン, 大省工業, タカサーキット, 田安鉄工, THK, テクノイル・ジャポンK.K., 日信工業, VSN, 福井大学工学部先端科学技術育成センター, 古河スカイ, ホクシン, MY CARS, 松浦機械製作所, 丸五ゴム工業, 吉岡幸, レイズ

43 神戸大学

Kobe University

■メンバー

(CP)古川正明, 有野直樹, 中嶋寛, 小坂隼一郎, 藤原康平, 古賀進一郎, 中村正博, 鳥中祐仁, 崔智善, 箱谷淳, 北野純希, 木下智博, 脇谷 亮佑, 安田周作, 吉川巨樹, 三浦亮太郎, 松田拓大, 木村大気, 石川翼, 政田直也, 森川翔太, (FA)白瀬敬一, 宋明良

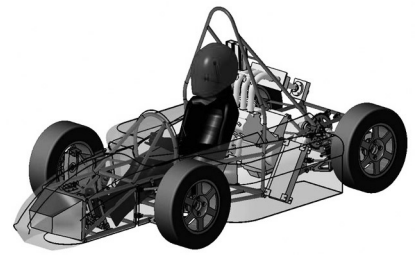


■車の特徴とチームの抱負

本年度の車両は「軽量化」、「低重心」をコンセプトと致しました。また、ドライバースペースを広く取り、乗り心地も向上しました。本年度は早期のシェイクダウンを目標とし、大会には準備万全で挑みたいですね。

■スポンサー

川崎重工, ダイハツ工業, ソリッドワークス・ジャパン, 住友電気工業, 北神戸サーキット, キヤノンシステムソリューションズ, セイコー化工機, NTN, 神戸大学工学部工作技術センター, 宮脇鋼管, MOTO-DOG, タイヤセレクト神戸店, エフ・シー・シー, RACING SERVICE WATANABE, 興和製作所, 神戸製鋼所



44 高知工科大学

Kochi University of Technology

■メンバー

(CP)田辺真一, 北村知也, 中塚光太, 新谷秀太, 種田育将, 北原和揮, 文野智博, 荻山雅由, 川野恭志, 吉田宗基, (FA)大塚幸男



■車の特徴とチームの抱負

昨年、車両設計において評価を頂いたので、今年もコンセプトを継承しました。「安全・安心」を求め、ロングホイールベース・広いコックピットを採用し、その上で、車両性能の向上を目指しました。去年は残念ながら完走できなかったのですが、今年度は完走します。

■スポンサー

SUZUKI, 新井鉄工所, Kochi Classic and Sports car Club, 浜田製作所, SBS高知, Ke~FACTORY, ネットトヨタ南国, モーターランドたぢかわ, タイヤプロショップ タイヤガーデ, M HOUSE, ニッソーサービス高知工科大, 知能機械システム工学科, F.C.C,

45 成蹊大学

Seikei University

■メンバー

(CP)前川徳允, 光永朋之, 金子哲也, 片倉将人, 嶋田夏貴, 松田和久, 初鳥哲也, 牧理, 朝倉淑裕, 山本堂太, 斉藤貴文, 北澤俊, 古西貴大, 佐藤互, 香取孝宜, 稲田隆則, 府藤大輔, (FA)堀口淳司

■車の特徴とチームの抱負

「Speed」&「Safety」&「Save the earth」という3つの「S」をコンセプトにし、新たに高度な解析と実験を取り入れ他には無い唯一無二のクルマで総合10位以内!! 下克上します!!

■スポンサー

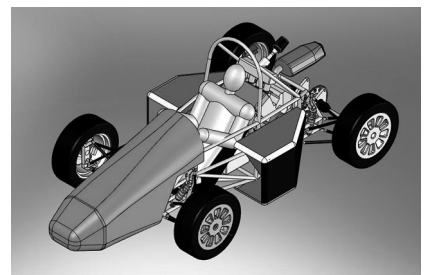
本田技研工業, 東鋼管工業, ナップス三鷹東八店, ダウ化工, 東北ラヂエータ, NTN, RPM, 武蔵境自動車教習所, ZERO ONE, トタル・ルブリカント・ジャパン, 村上製作所, フォーミュラード・ラー飯能, オートボックス三鷹店, 前川試験機, 日信工業, Auto Parts Service, エフ・シー・シー, 一世印刷, THK, ユタカ技研, 守谷商店, 成蹊大学理工学部, 成蹊会工学部同窓会

46 信州大学

Shinshu University

■メンバー

(CP)鈴木浩之, 三井田康介, 清水大志, 柿澤直紀, 須藤卓也, 長瀬昌親, 清水大志, 藤原 琢也, 深見清貴, 藤森一茂, 荒尾慶宣, 桑名海渡, 西谷篤朗, 山元剛, 守田嘉樹, 木脇聡志, 五十嵐智志, (FA)榎本祐嗣



■車の特徴とチームの抱負

全国で唯一の繊維学部である我々信州大学繊維学部のチームです。繊維学部の特色を生かし『レースカー3原則の追求』をコンセプトとしマシンを製作しました。今年度は全種目完走し、上位入賞を目指します。

■スポンサー

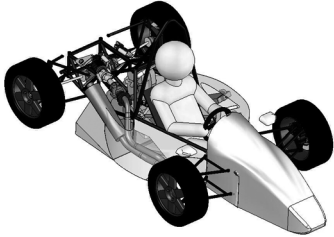
NTN, 江洋ラヂエーター, サーキットあずみ野, スズキ, ソリッドワークス・ジャパン, 千曲会, ウェッズ, スパルコR&D, 日信工業, ピボット, 本田技研工業, ヤマハ発動機, 横浜ゴム, レスカ, 信州大学SVBL

47 久留米工業大学

Kurume Institute of Technology

■メンバー

(CP)西嶋拓也, 須貝基司, 河野淳, 杉野史瑛, 岩崎青哉, 小田龍之介, 亀井宏晃, 岸上陽志朗, 西岡孝啓, 渡邊宗矩, 松尾悠平, 三根達成, 田中幸志, 小場佐賢太, 福島範昭, 前田拓磨, (FA)東大輔



■車の特徴とチームの抱負

昨年度に達成できなかった車輻コンセプトである“カイカン”をしなやかな足回りとターボチャージャーを搭載することにより達成することに成功しました。車検に1回で合格し、走行競技を完走し、総合成績20番台を目指します。

■スポンサー

スズキ, プリチストン, ソリッドワークスジャパン, モリワキエンジニアリング, モーターテックロジ, グッドリッジジャパン, トーホー, アーチザン, NTN, VSN, 案納自動車, 大阪単車用品工業, 上津レンタカー, 協和工業, 大同工業, 竹田設計工業, 田原ポデー製作所, 単車屋, 津留崎製作所, 中島田鉄工所, 西嶋板金工業, ミヤコ自動車工業, 和光ケミカル, 久留米工業高等専門学校, 久留米工業大学同窓会, 久留米工業大学創造工房

48 京都工芸繊維大学

Kyoto Institute of Technology

■メンバー

(CP)後藤宏志, 富田春樹, 北山周, 小西健也, 寺田真, 藤本達也, 堀田大樹, 齋藤大介, 野村友大, 遠藤弘樹, 西田淳一, (FA)射場大輔



■車の特徴とチームの抱負

軽量コンパクトな車両でテクニカルなコースを攻略します。特に軽量の面では、昨年比25パーセントの軽量化を達成でき、目標を達成できたので非常に良かったと思います。今年こそ車検を一発で通過し全競技に出場し上位を目指します。

■スポンサー

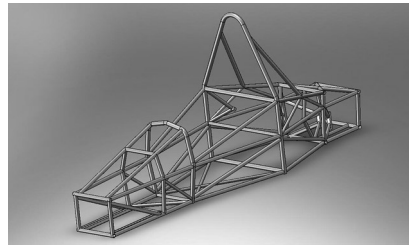
スズキ, 丹後機械工業, 山本精工, 川崎重工, エクセディ, サイバネットシステム, サンエー, TDK, ハイレックスコーポレーション, カツキワークス, ヤマト, 松田精工, 四辻精工, 日昌製作所, 丹後熱処理センター, 峰山メッキ, タンゴ技研

49 大阪産業大学

Osaka Sangyou University

■メンバー

(CP)青木真彦, 芳原利典, 岩田一晃, 伊藤龍治, 木村賢太郎, 桑田祐介, 神通隆行, 長谷祐明, 藤村北斗, 渡邊慧, 的場章峰, 乾慎二, 乾善博, 井上純一, 奥村幸太郎, 河邊直樹, 古賀展春, 小林良, 小松侑平, 竹原陽太, 野瀬雄介, 宮野正樹, 宮本昂一, (FA)上田博之



■車の特徴とチームの抱負

今年の車両の特徴として、ドライバビリティの向上と前回車両からの正常進化を軸に設計に当たりました。今回は完走することが出来なかったため、無事完走をはたし、上位入賞を狙えるように精一杯頑張ります。

■スポンサー

川崎重工業, SolidWorks Japan, RAYS, R-Style

■車の特徴とチームの抱負

今年度の車両は、機能性を追及した結果得られる美しさ「機能美」というコンセプトの元に製作しました。

工学院レーシングチームはこの車両で大会に出場し、上位入賞を目指します。

■スポンサー

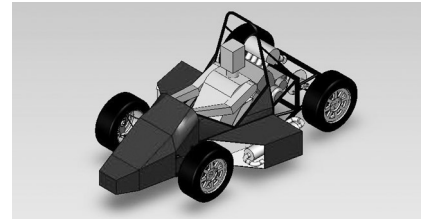
本田技研工業, NTN, デルタ工業, ニュースタジオ, タカタ

51 福井工業大学

Fukui University Of Technology

■メンバー

(CP)倉元伯行, 石原大資, 赤倉隆祐, 坪田貴臣, 田村優斗, 松原大介, 橋本和明, 服部峻也, 渡邊祐樹, 永井崇寛, 峰徳洋, 山内修吾, 稲田達仁, 上田崇博, 高田達也, (FA)小栗彰



■車の特徴とチームの抱負

モータースポーツに興味がある人が手軽に楽しめるマシンということよりマシンコンセプトは、「安価なマシン」です。

昨年は準備不足から納得の行く成績が残せなかったため今年は準備をしっかりとし臨むつもりです。

■スポンサー

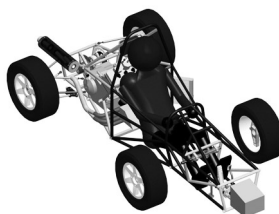
HONDA, VSN, NTN, FCC, 福井鋸螺, 極東開発工業, EKチェーン, 松浦機械製作所, MACCHINA, 金井学園

50 工学院大学

Kougakuin University

■メンバー

(CP)原田昆寿, 晝間大介, 森田浩文, 新井一基, 市川晃, 今井龍敏, 佐藤学, 長澤拓, 平賀文康, 杉本 亮, 松橋高広, 山内洋貴, 高橋元, 渡辺賢, 吉澤仁志, (FA)野崎博路



52 Kunsan National University

■Team Members

(CP)Deok-Joong Kim, Jeong Minho, Choe Gyuho, Im Hansol, No Gyeongseok, Kim Sujin, Lee Dongnyeon, Park Yongseok, Park Jongyeon, Park Jongseon, Choe Sumin, (FA)Gang-Won Jang



チームメンバーとスポンサー

Team members and sponsors

■Feature of car and express team wishes of the Competition
Custom Shocks, Surge Tank(Made by RP), Electrical Clutch & Tip Tronic

■Team sponsors

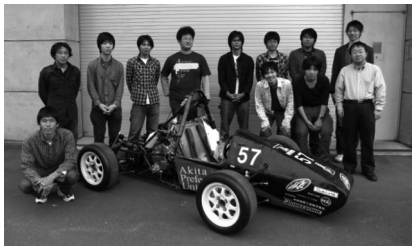
NURI, HSD SHOCKS, KUMHO TIRES, STS, AARK, KATIC, JAIIC, KOREACLUTCH, NAMSUNG IND CO, LTD. YUGI IND CO, LTD.

53 秋田県立大学

Akita Prefectural University

■メンバー

(CP)小池史祥, 小島一晃, 岡崎善衛, 都築良太, 庄司圭佑, 本間謙也, 小林弘典, 谷村大輔, 石原亘, 石井杏奈, 佐藤好希, 高橋実可子, 嵯峨俊一, (FA)杉本尚哉



■車の特徴とチームの抱負

今回の車両は「SMART」をコンセプトに、ドライバーにフィットするよう軽量のボディ、無駄のないパーツ、機敏な走行のできる車両を目指し、メンバー全員が満足していく車両を製作したいと思います。

■スポンサー

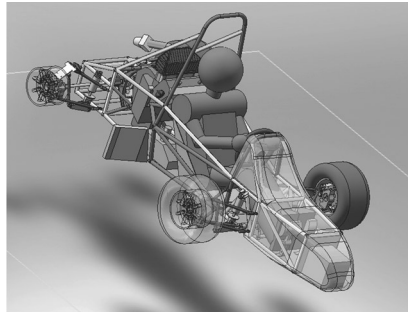
本田技研工業.NTN.日信工業.ソリッドワークスジャパン.トヨタカローラ秋田.秋田新電元.三栄機械.秋田県立大学.秋田県立大学後援会.小原歯車工業.THK.協和工業.野島エンジニアリング.渡辺工業.サステック東北

54 北海道大学

Hokkaido University

■メンバー

(CP)樋口大河, 鈴木隆太, 森岡怜史, 山中将裕, 山口恭史, 前田秀旭, 南貴士, 鈴木隼人, 大島剛志, 長沼伸司, 加畑精一, 大久保岳, 山内優輝, 近久智哉, 赤岡広周, (FA)近久武美, 田部豊, 金子友海



■車の特徴とチームの抱負

昨年度の車両をベースにし、設計から評価まですべての過程で質を高めることで、飛躍的に運動性能を向上させました。この車両で、昨年度成し遂げられなかった車検通過、全種目完走を目指します。

■スポンサー

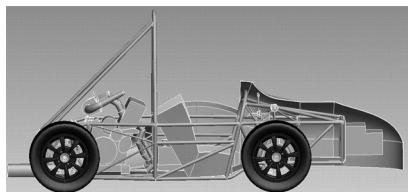
本田技研工業, クスコ, 札幌新千歳モーターランド, Arakawa Radiator Works, 榛葉鉄工所, ミネベア, NTN, エフ・シー・シー, 前田金属工業, レーシングサービスワタナベ, ソリッドワークス・ジャパン, MSC Software Corporation, FCデザイン, プランニング.フォー, クボタ, いすゞエンジン製造北海道, トヨタレンタリース札幌, FRPウチャヤマ, エービービ, 日信工業, early tech

55 九州産業大学

Kyusyu Sangyou University

■メンバー

(CP)瀧川亮平, 門脇優輝, 野中裕道, 赤池翔太, 山城寛明, 石丸高将, 前田丈二, (FA)寺西高広



■車の特徴とチームの抱負

我々は大会の趣旨を改めて理解することで、個人の成長、チームの成長を促し、全種目での得点獲得を目指します。他チームからも一目置かれる美しいカウルと整備性、操作性、安全性、を重視した車両がコンセプトです。

■スポンサー

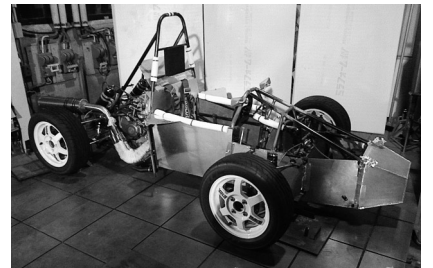
川崎重工業.NTN.プリチストン.MSCSoftWare.フルキャストセントラル.レーシングサービスワタナベ.サイバネットシステム.FCC.VSN.

56 日本大学生産工学部

College of Industrial Technology, Nihon University

■メンバー

(CP)野中好文, 遠藤裕夢, 小田康晴, 風間祐希, 牧田直希, 吉村達矢, 岩崎幸弥, 海野直弘, 倉田祐輔, 佐藤宗一郎, 高宮賢太, 滝田裕一, 松下優穂, 相川拓也, 今野翔平, 上田悠貴, 清水俊喜, 杉山直樹, 松井 雄介, 石田貴路, 伊藤貴也, 實川直人, 渋谷友晴, 須田直樹, 服部英明, 深澤慶, 牧正悟, 松下大希, スタケート・ノッパドン, 佐藤雄一郎(FA)氏家康成



■車の特徴とチームの抱負

未だ果たせていない完走を目標に頑張っています。そしてこの大会をターニングポイントとして飛躍の年にしたいと考えています。車両は初心者でも扱いやすいということを目指しています。

■スポンサー

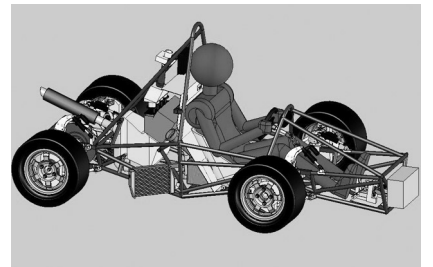
NTN, エフ・シー・シー, 北嶋自動車工業, 小出口ール鐵工所, 埼玉車体, Solid Works, 田口型範, 日本大学生産工学部, 日本大学生産工学部機械工学科, VSN, 本田技研工業, 横浜ゴム, ラストラダ, WORLD SUPPLY

57 崇城大学

Sojo University

■メンバー

(CP)横山敏郎, 岩永裕和, 児玉伸正, 豊嶋健悟, 野田和孝, 羽野祐史, 中島綾太, 松崎直也, 三牧彰裕, 山本拓矢, 貞包龍一, 中尾亮太, 徳永規克, 蔵ヶ崎歩, 高崎馨, 森本大貴, (FA)齊藤弘順, 内田浩二



■車の特徴とチームの抱負

Sojo Project Fは本年度が初参戦となり、本年度は走りの根幹となるサスペンションジオメトリーの精度を出すことに注力し車両製作に当たりました。この車両で完走、そしてルーキー賞受賞を目指します。

■スポンサー

本田技研工業.プリチストン.崇城大学.レイズ.ソリッドワークスジャパン.協和工業.VSN.フルキャストセントラル.ウエストレーシングカーズ

58 日本工業大学

Nippon Institute of Technology

■メンバー

(CP)鈴木昭智,濱野剛,沼生貴紀,山本秀広,丸岡竜司,嶋村悠司,大和尚矢,柳井大輔,新井圭一,鈴木陽介,野島聖史,(FA)小倉勝



■車の特徴とチームの抱負

私たちのフォーミュラカーの最大の特徴は、電磁駆動バルブを採用したエンジンです。そして、実際のレースに参戦することを目標として、それに耐えうる強固なフレームでロングホイールベースのフォーミュラカーを製作しています。

■スポンサー

鈴木モータース,RS Watanabe,F.C.C,協育,タイヤ館京葉,井上医院,オートパーツウエマツ,作田設計制御

■Feature of car and express team wishes of the Competition

FSAE Japan 2008 is the first Formula SAE venture for Torque India RC. TI-08, the team car will be simple with emphasis on basic requirements and safety regulations. The team is looking forward to the learning curve, and aspires to finish all the static and dynamic events with a positive score.

■Team sponsors

N.V Breweries and Distilleries Ltd. , North Eastern Carrying Corporation, Marut Nandan Education Society

61 M.H.S.S. College of Engineering

■Team Members

(CP)Priyank Pathak,Lyndon D'silva,Adnan Ansari,(FA)Dr. Ajoy Kumar



■Feature of car and express team wishes of the Competition

Double wishbone suspension, custom differential casing, steel spaceframe chassis, standalone engine management system, adjustable suspension for toe and camber. To build reliable and competitive low cost race car and to successfully complete all static and dynamic events.

■Team sponsors

AURA Wheels, JK Tyres, Performance Electronics, ELCA Labs.

63 Donghua University

■Team Members

(CP)Zhao yun,(FA)Liu hong tao

64 M.S.Ramaiah Institute of Technology

■Team Members

(CP)Pradeep,Abhijeeth,Rajat A. Umarji,Sunil Pai,Govardhan .T,Oswald Jason Lobo,Kishor Kumar Reddy .G,Srinivas .S .K,Abhijith .S,(FA)Naidu



■Feature of car and express team wishes of the Competition

The car is compact, strong, cost effective, fuel efficient, the performance is above par and overall the car is technically sound. Team Dark Horse Racing is enthusiastic to learn and gain knowledge, to become the best in the coming years and make our country "INDIA" proud

■Team sponsors

MSRIT,Hoshi Tools Ind Pvt Ltd,Lakshmi Engineering works,Precise Hydraulics,

59 Thapar University

■Team Members

(CP)Rouble G. B. Singh,Sameer Luthra,Govind Mohan Adlakha,Salil Anand,Sachleen Singh,Mandeep Singh,Puneet Randhawa,Nitish Lal,Rovin Singh,Harsimrandeep Singh Handa,Amrit Pal Singh,Rouble,(FA)Ajay Batish

60 Laxmi Devi Institute of Engineering and Technology

■Team Members

(CP)Arpit Gupta,Bharath Mohan,Hemant Khurana,Anubhav Singh Khatana,Rahul Singh,Ashwani Kumar,Abhishek Rai,Varun Krishnan,Aparna Srivastav,Garima Bhagria,Prashant Singh Rana,Maneka Bachani,Prashant Dwivedi,Tulika Gera,Anuj gupta,Shrey Yadav,(FA)Man Vijay Singh



62 Tongji University

■Team Members

(CP)Sunyu Tong,Xiang Liu,Jianxun Huang,Xu Chen,Feng Liu,Junhui Yu,Haiqing Xu,Yi Wang,Kun Wu,Xun Gu,Difan Xie,Yintong Liu,Jia Wu,Jiaqi Liu,Weinan Li,Bijun Gao,Chenhui Hu,Sijun Shao,(FA)Liguang Li

■Feature of car and express team wishes of the Competition

a high performance racing car with low cost,our goal is to accomplish all the events in the competition,fulfill ourself

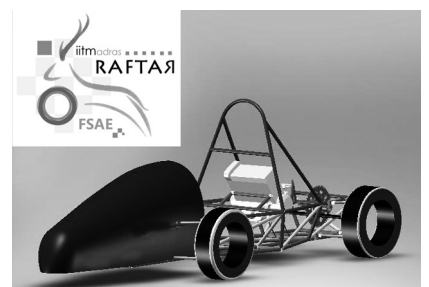
■Team sponsors

Shenzhen high performance racing car club

65 Indian Institute of Technology Madras

■Team Members

(CP)Pravin Carvalho,Vineet Bhandari,Mayank Shende,Abhishek Gandhi,Anand S,Saurabh Gupta,Krishna Chaitanya,Madhvendra Singh,Harshit Kumar Gupta,Arun Nair,Srideep Chatterjee,(FA)Dr. Ramesh A.



チームメンバーとスポンサー

Team members and sponsors

■Feature of car and express team wishes of the Competition

RAFTAR, the hindi word for speed, is our motivation. Our first ever entry into the Formula SAE series in the Institutes Golden Jubilee year, this year fs car is a result of 9 months comprehensive design work with no compromises on quality and safety. The team aspires to qualify through every round at FSAE Japan and make Formula SAE an integral part of the student co-curricular activity in the institute.

■Team sponsors

IIT Madras, JK Tyres, Tubes Investments India, Computer Age Management Syatems

66 Iran university of scince & technology(Arak branch)

■Team Members

(CP)hadi noorzadegan,iman heidari,hossein rezamohammadlou,hamid nasereslami,mohammad reza nezamabadi,mehdi mohajerani,meisam abedini,majid kashani,kiana kavoosi,Vajihesadat Sajjadi,Marziye Ghafari,(FA)Dr A-Ahmadi

67 埼玉工業大学

Saitama Institute of Technology

■メンバー

(CP)大野裕一,中村孝行,五十嵐進,久保埜拓未,荒井邦裕,大宮賢一郎,渡辺裕次,久保埜拓未,栗原侑也,鈴木淳夫,関将成,塚田健二,蟻塚康生,大塚一希,脇島智博,熊谷純一,高橋裕樹,田村真之,中村和馬,早川真幸,大谷光弘,大窪直行,野中雄太,石川裕人,篠原佑平,富林潤,結城光,齊藤拓,高梨翔太郎,長嶺賢太郎,渡辺暁久,山本勇太,桜井翔,藤沼洋光,栗山慎鋒,(FA)榎本勝,小西克享,栗山慎鋒



■車の特徴とチームの抱負

特徴は、初参加なので、エンジン・リア・フロントなどに中古車の部品を使っている。抱負は、今まで一から物を製作する機会が無かったためこのフォーミュラでメンバーと協力して、出来るだけ良い結果を残したい。

■スポンサー

FCC.埼玉工業大学後援会

68 トヨタ名古屋自動車大学校

Toyota Technical callege Nagoya

■メンバー

(CP)三輪英暢,酒井将生,浅田規文,牧昂輔,熊澤祐太郎,板垣憲太,福吉健一郎,長村成基,渡久山朝寛,久住和弘,北原浩翔,大賀崇史,司城正樹,堤亮介,本石渉,後藤社登,吉田貴弘,(FA)早川哲也



■車の特徴とチームの抱負

今回の大会が初参加のチームです。車両はサスペンション、ステアリング、吸排気系を基本を大切に設計製作しました。チーム一丸となって全種目でのポイント取得を目指します。

■スポンサー

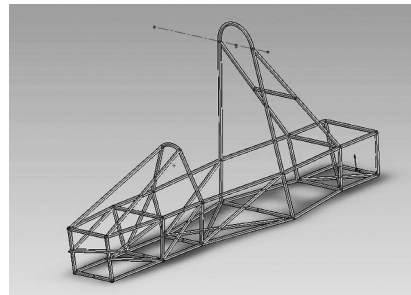
IKO・日本トムソン,小原歯車工業,積水化成,ソリッドワークスジャパン,ニッセイ

69 北九州市立大学

The University of Kitakyushu

■メンバー

(CP)今裕一郎,竹川祐哉,高橋力,長岡崇,山中孝之,米川恭平,穴見拓章,小野剛,田中佳祐,緒形康平(FA)小野信輔



■車の特徴とチームの抱負

今大会に向けては、車両はシンプルなものを作ることでチームメンバーの経験地を上げることを目標に製作しました。様々な作業を掛持ちで担当することでチームワークと技術を学び、少数精鋭で頑張っています。

■スポンサー

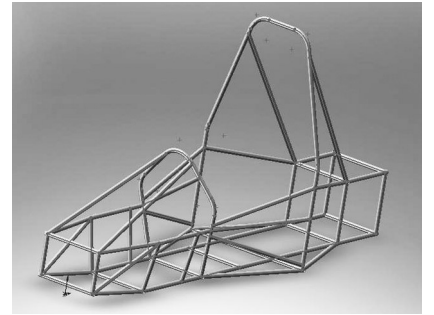
川崎重工業,ブリヂストン,古川板金工業,Solidworks,信和鋼板,第一特殊金属

70 山形大学

Yamagata University

■メンバー

(CP)若泉俊,柴田将宏,玉水智之,横澤恵輔,佐藤優太,大水雄介,高山将歩,西隆行,小野聡太,渡邊裕伴,文賢洙,植松洋一,吉田和正,田村一樹,鈴木勝教,(FA)小松原英範



■車の特徴とチームの抱負

単気筒エンジンを採用することで、軽量・コンパクトな扱いやすい車両にしました。今大会が初参戦のため、チーム一丸となってルーキー賞を目指します。

■スポンサー

NTN,エフ・シー・シー,片桐製作所,カートソレイコ最上川,小原歯車工業,三洋工業,住友軽金属工業,ソリッドワークス・ジャパン,日信工業,日高精機,VSN,本田技研工業,丸八鉄工所,レーシングサービスワタナベ,ワイ・ジュー・ケー,和光ケミカル

71 Vnr Vignana Jyothi

Institute of Engineering and Technology

■Team Members

(CP)P.M. Krishna Srinivas,Venkatesh Grandhi, Sanjay Jain,Jyothier Kumar Nimmagadda, V.Kranthi,G. Mahesh,Mahendra Talasila, G.Srikanth,V. Sri Ranjani,Rohit Reddy,Teja, A.Manoj,M.Krishna Chaitanya,K.Prudvi Ram, K.ABHISHEK,B.SUMANTH,M.SANTOSH KUMAR,K.HARI RISHNA,Y.H.PRATEEK, K.SIDDHARTH,(FA)D.V.S.S.Satyanarayana



■ Feature of car and express team wishes of the Competition

The car is unique in its design, right from the design of the frame, mounting of the fuel-tank, the design of the drivers cockpit, the variable intake system for the engine, the unique gear ratios of the differential, the design of the suspension and the bodywork of the car.

■ Team sponsors

X-DESIGN VENTURE PRIVATE LIMITED, JAYEM AUTOMOTIVES PRIVATE LTD, K.RAMCHANDRA RAO TRANSMISSION AND PROJECTS .FOR YOUR KIND INFORMATION SPONSORS LIST WOULD INCREASE.



■ 車の特徴とチームの抱負

当チームはサイドエンジン・CVTを採用し、低重心によるコーナリング時の安定性の高さ、ドライバー負担の軽減を狙います。初参加のためデータ収集に重点を置き、来年度につながる車作りを目指します。

■ スポンサー

ヤマハ発動機、白岩、本田技研工業、フルキャストセントラル、FCデザイン、Showcase、FCC、ソリッドワークス・ジャパン、NGP日本自動車リサイクル事業共同組合、湘南工科大学。

■ スポンサー

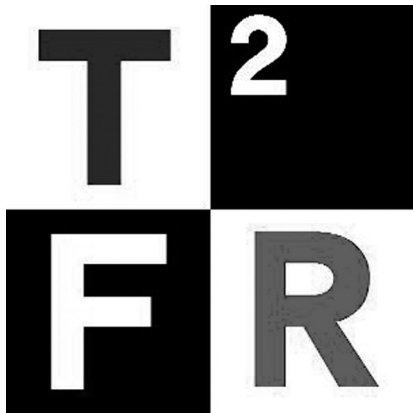
suzuki, KUWAHARA BIKEWORKS JAPAN, レイズ

72 東京工業大学

Tokyo Institute of Technology

■ メンバー

(CP) 齋藤拓也, 龍野功幸, 穂積昭充, 坂口嘉一, 山村憲司, 米澤翔太 (FA) 小関道彦



■ 車の特徴とチームの抱負

第6回目となる今年が東工大にとっての初参戦となりました。6人という決して多くはないメンバーで、経験もないですが、他のチームに負けないよう上位を目指して頑張りたいと思います。

■ スポンサー

本田技研工業、日産自動車、東京R&D、コンティネンタル・オートモーティブ、ジュニアモーターパーク・クイック羽生、小野電機製作所、日信工業、キャロッセ、ソリッドワークス・ジャパン

73 湘南工科大学

Shonan Institute of Technology

■ メンバー

(CP) 松下幸裕, 源間洋文, 本間 隆寛, 馬上聡, 佐藤洋輝, 入江優太, 高田怜志, 天野洋平, 田中崇大, 中井俊輔, 常枝拓弥, 千葉洗平, 永田幸治, 上野雄介, 岩波重良, 柳沢孝祐, 川村賢徳, 浦川洋二, (FA) 佐藤博之

74 Guru Gobind Singh
Indraprastha University

■ Team Members

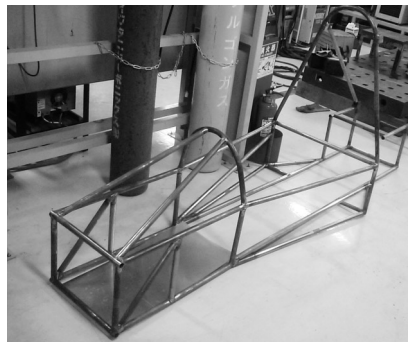
(CP) RAJ KUMAR, VARUN JAIN, TANVI GUPTA, TANUJ BHATIA, SAMPADA BAGAI, PAYAL BAIJAL, MANAN GANDHI, ANKIT JAIN, ANJU GUPTA, (FA) O P GROVER

75 大阪工業大学

Osaka Institute of Technology

■ メンバー

(CP) 齋藤健太, 北川泰広, 井土卓, 中川和哉, 村上雄紀, 清水浩之, 栗山恭輔, 加藤喜一, 杉本成, 有田雄介, 辻本泰之, 上谷直子, 今野忠, 鎌倉圭佑, (FA) 小川直樹



■ 車の特徴とチームの抱負

私たちのチームは今年初めての参加になります。そこでチームの抱負は初出場での車検の通過・完走を目指しています。車体の特徴は大きめの車体にする事により、乗る人を選ばない設計になっています。

76 Institute of Automotive
Engineers Sri Lanka

■ Team Members

(CP) Rukshan Navaratne, Dinesh jayawardane, Indika Pallewatta, Asitha Fernando, Nuwan Adikari, Arujana Dissanayake, A A Ijabathullah, ah, Sanjaya Dayananda, Vidura Fernando, Kamith Chandila, Sheron Perera, Malinda Dias, Danushka Udayanga, Sampath Wijetillaka, Suranga Perera, Minesh Chandimal, Kalana Jayasanka, Sanjeewa Wijesinghe, Shanaka Dias, B B S Welagadara, Daminda Herath, W A D B Weerasinghe, Krishan Jecudasan, Daham Gunasekera, Sameera Wickramasinghe, (FA) A G Samarasekera

77 King Mongkut's Institute of
Technology Ladkrabang

■ Team Members

(CP) Tinnaphop Poolkhaolan, Umnuk Mongkolchaiyasit, Piyaboot Ornman, Wittawat Imerb, Yootana Songsangchan, Tewarit Charernme, Tanit Jetawatana, Somchai Sangwijit, Taras Sangngam, Teerakun Dukkuntod, Pongsatit Isarangkool NA, Pattanit Nomthongthai, Teerasak Pongsawad, Suwit Phawut, Parinya Kanphai, Parisut Srimanee, Phadungkeat Chaichana, Piyapong Puenghua, Kunakorn Sriwirut, Teerawit Hanharuethaiwan, Raungsap raungthai, Naren Chaitanee, Prathan Srichai, Wittawat Jintaworakul, Thitipan Parinthatarikun, Tinnaphop Poolkhaolan, (FA) Chinda Charoenphonphanich



注)

(CP) チームキャプテン
(FA) ファカルティアドバイザー

主催・後援・協賛 委員会組織

Organisers / Sponsors / Co-Sponsors / Committee Member

主催： 社団法人 自動車技術会

後援： 文部科学省, 経済産業省, 国土交通省, FISITA, 静岡県, 日本自動車工業会, NHK, 日本テレビ放送網, 東京放送, フジテレビジョン, テレビ朝日, 静岡朝日テレビ, 静岡放送, 朝日新聞社, 読売新聞社, 毎日新聞社, 静岡新聞社, 日本経済新聞社, 日刊工業新聞社, フジサンケイ ビジネスアイ, 日刊自動車新聞社

協賛： 産業技術総合研究所, 交通安全環境研究所, 日本自動車研究所, 日本私立大学協会, 日本私立大学連盟, 公立大学協会, 日本工学会, 日本ゴム工業会, 計測自動制御学会, 潤滑油協会, 日本機械学会, 日本工学教育協会, 日本工作機械工業会, 日本ゴム協会, 日本材料学会, 日本自動車タイヤ協会, 日本設計工学会, 日本陸用内燃機関協会, 溶接学会, 日本自動車車体工業会, 日本自動車整備振興会連合会, 日本自動車機械器具工業会, 日本自動車部品工業会, 日本自動車連盟, 日本自動車販売協会連合会

大会本部

大会委員長 高原 正雄(いすゞ中央研究所)

大会副委員長(競技担当) 小川 徹(本田技術研究所)
(事務局担当) 窪塚 孝夫(自動車技術会)
(審査担当) 増田 義彦(トヨタ自動車)

全日本 学生フォーミュラ委員会

委員長	高原 正雄	いすゞ中央研究所	委員	久村 春芳	日産自動車
副委員長	小川 徹	本田技術研究所		後藤 新一	産業技術総合研究所
	窪塚 孝夫	自動車技術会		鈴木 俊宏	スズキ
	増田 義彦	トヨタ自動車		高橋 武秀	日本自動車部品工業会
委員	井上 俊紀	日野自動車		中山 寛治	日本自動車工業会
	太田 誠一	三菱自動車工業		橋本 茂	日本自動車車体工業会
	大西 洋二	川崎重工業		藤森 文雄	アイシン精機
	小川 王幸	デンソー		松林 淳	ダイハツ工業
	加藤 幹夫	本田技術研究所		馬淵 晃	富士重工業
	金澤 啓隆	マツダ		向尾 昭夫	日立製作所
	木村 隆昭	ヤマハ発動機		山岸 康一	トヨタ自動車

全日本 学生フォーミュラ委員会戦略チーム

委員長	増田 義彦	トヨタ自動車	委員	久村 春芳	日産自動車
幹事	窪塚 孝夫	自動車技術会		高原 正雄	いすゞ中央研究所
委員	伊藤 宏一	東京都立産業技術高等専門学校		中村 博	本田技研工業
	小川 徹	本田技術研究所		吉田 幸司	日本大学

全日本 学生フォーミュラルール委員会

委員長	伊藤 宏一	東京都立産業技術高等専門学校	委員	本田 篤	川崎重工業
副委員長	山岸 康一	トヨタ自動車		本田 康裕	国土館大学
委員	加藤 幹夫	本田技術研究所		吉田 幸司	日本大学

全日本 学生フォーミュラ表彰・スポンサーシップ委員会

委員長	向尾 昭夫	日立製作所	委員	三枝 信雄	日産自動車
委員	岡 秀樹	スズキ		佐藤 積	川崎重工業
	加藤 幹夫	本田技術研究所		平野 雅久	ヤマハ発動機
	神谷 保	トヨタ自動車		平本 賀一	本田技術研究所

全日本 学生フォーミュラ実行委員会

委員長	平本 賀一	本田技術研究所	委員	佐々木 健一	ダイハツ工業
副委員長	下山 修	日産自動車		佐藤 積	川崎重工業
	本田 康裕	国土館大学		島岡 信次	マツダ
	松下 元秀	自動車技術会		関根 太郎	日本大学
	山岸 康一	トヨタ自動車		田部 雅彦	ハーズ
委員	飯田 導平	デンソー		土屋 高志	静岡理科大学
	飯野 龍雄	富士重工業		永田 龍三郎	アイシン精機
	伊藤 宏一	東京都立産業技術高等専門学校		中村 博	本田技研工業
	岡 秀樹	スズキ		平野 雅久	ヤマハ発動機
	狩野 芳郎	神奈川工科大学		本田 篤	川崎重工業
	神谷 保	トヨタ自動車		増田 好洋	ソモス

Formula SAE®とは

About Formula SAE® Competition

Formula SAE®とは

『ものづくりによる実践的な学生教育プログラム』としてFormula SAE®(SAE International主催)が1981年(4輪自動車生産で日本が米国を追い抜き世界一になった翌年)に米国で初めて開催された。この大会の前身は1976年に開催されたオフロードの8馬力バギーの製作競技で、これが1978年にオンロードのミニインディとして発展し、1981年にシャシーだけでなくエンジンも設計・製作する現在のFormula SAE®に発展したものである。

学生のみで組織されたチームが、約1年間でフォーミュラスタイルのレーシングマシンを製作し、その設計・製作能力、製作したマシンの性能を競う総合競技。第1回大会のエントリーはわずか6校で、競技参加は4校だったが、26回目を迎えた2006年からは、5月にデトロイト、6月にロサンゼルス郊外の2ヶ所にわかれての開催となり、併せて、200チーム以上がエントリーする大会に発展している。

大会のホスト役は、最初の10年間は全米各地の大学が担い、1991年GM、92年フォード、93年クライスラーが担い、94年以降は米国ビッグ3とSAE Internationalがコンソーシアムを結成し大会のホスト役を担っている。米国企業は、Formula SAE®が自動車関連企業にとって即戦力となる技術者を育成する大会として認知されている。日本からは、2000年に5大学1高専の合同チームが初参戦以降、毎年2~4チームが参戦している。

世界各地で開催されるフォーミュラ大会

1997年、Formula SAE®に英国のリーズ大学が北米以外からのチームとして初めて参戦した。その翌年の1998年、英国でFormula Studentが開催され、2000年からオーストラリアでFormula SAE® Australasia、2004年からブラジルでFormula SAE® Brazil、2005年からイタリアでFormula SAE® Italy、2006年からドイツでFormula Student Germanyが開催されている。なお、2003年から開催している日本の大会は、アメリカ、イギリスに次ぐ規模の大会となっている。

世界の大会(過去1年)

開催期間	大会名称(開催地)	
(07) 9月21日(金)~23日(日)	Formula SAE® Italy(フィオラノ)	Class1 20チーム Class3 5チーム
(07) 11月8日(木)~11日(日)	Formula SAE® BRASIL(サンパウロ)	15チーム
(07) 12月13日(木)~16日(日)	Formula SAE® Australasia(メルボルン)	22チーム
(08) 4月23日(水)~26日(土)	Formula SAE® VIR(バージニア)	43チーム
(08) 5月14日(水)~18日(日)	Formula SAE® (ミシガン)	121チーム
(08) 6月25日(水)~28日(土)	Formula SAE® West(カリフォルニア)	80チーム (2007実績)
(08) 7月10日(木)~13日(日)	Formula Student(シルバーストーン)	Class1 69チーム (200 series8チーム) Class2 7チーム Class3 14チーム (2007実績)
(08) 8月6日(水)~10日(日)	Formula Student Germany(ホッケンハイム)	54チーム (2007実績)
(08) 9月10日(水)~13日(土)	Student Formula SAE Competition of JAPAN(エコパ)	59チーム (2007実績)

大会開催の経緯

History of Competition

2000 Formula SAE® に初挑戦

1997年4月、自動車技術会関東支部の学生自動車研究会のなかに「Challenge! Formula SAE。」プロジェクトが発足し、基本設計、空力特性などを検討した。1998年4月、5大学1高専の合同チーム「Challenge! NIPPON」チームが発足し、エンジンは国土館大学、ワイヤハーネスは上智大学、メインフレームは東京都立航空工業高等専門学校、カウルは日本大学、サスペンション、ステアリング、組み立ては神奈川工科大学が担当した。

Formula SAE。は、排気量610cc以下の4サイクルエンジンの使用が義務づけられている。「Challenge! NIPPON」チームは、軽自動車の660ccエンジンをストロークダウンにより規定の610cc以下にして臨んだ。排気量608cc、車両質量360kg、FRP製フルカウルの車両で、2000年5月のFormula SAE。にアジアから初参戦した。総合成績は、参加104チーム中28位で、初参加の優秀チームに贈られる新人賞を受賞した。

以降、2001年は、国土館大学・上智大学・日本大学の合同チーム、神奈川工科大学の単独チームが参戦した。2000 Formula SAE。プロジェクトでは活動方針、進行管理などについては担当の先生に委ねがちであったが、2001 Formula SAE。ではマネジメント、進行管理、広報活動についても学生自身が自ら行った。参加125チーム中合同チーム91位、神奈川工科大チーム92位。

2002年からは単独校として毎年数チームが参戦している。

日本大会に向けてのトライアルイベント開催

トライアルイベントは、本大会開催に向けた大会運営リハーサルと位置づけ、2001年9月23、24日にツインリンクもてぎで開催した。参加車両は、2000 Formula SAE 参戦の合同チーム車両J-001、2001 Formula SAE 参戦の合同チーム車両J-002と神奈川工科大学チーム車両K-001の3台。Formula SAE。で行われている車検、静的評価、動的評価を一通り行った。このトライアルイベントにより大会運営ノウハウを得、2003年の本大会開催に向けて本格的な準備を進めることになった。

第1回 全日本 学生フォーミュラ大会

第1回全日本学生フォーミュラ大会は、富士スピードウェイで、2003年9月10日(水)～12日(金)に開催された。当初の予想を上回る国内17チーム(大学16チーム、高専1チーム)が参加し、約1100名が参加する盛大な大会となった。カーメーカー、部品メーカー、大学教員および学生など160名にのぼるスタッフの協力を得て、概数ではあるがチームメンバー300名、プレス関係者100名、見学者550名が参加、観戦した。

一日目は、車検、プレゼンテーション、設計審査、コスト審査を行った。二日目は、朝からアクセルレーション、スキッドパッドを行い、その後オートクロスとエンデュランスを行った。三日目は、エンデュランス、設計最終審査を行い全競技を無事に終えた。

総合成績は、SAE大会を経験している上智大学、国土館大学に続き、SAE大会を経験していない東京大学がベスト3に入った。

第1回～第5回大会実績

	優勝	2位	3位	開催地	参加チーム数
第1回大会 2003/9/10-12	上智大学	国土館大学	東京大学	富士スピードウェイ	17
第2回大会 2004/8/30-9/2	University of Texas at Arlington	神奈川工科大学	国土館大学	ツインリンクもてぎ	28 (うち海外3)
第3回大会 2005/9/6-9	金沢大学	神奈川工科大学	国土館大学	富士スピードウェイ	41 (うち海外1)
第4回大会 2006/9/13-16	上智大学	名古屋大学	University of Michigan - Ann Arbor	エコパ	50 (うち海外4)
第5回大会 2007/9/12-15	上智大学	国土館大学	金沢大学	エコパ	59 (うち海外4)



2000年合同チームの車両



2001年トライアルイベント



2004年第2回大会優勝 UTAチームの車両



2005年第3回大会優勝 金沢大学チームの車両



2006年第4回大会優勝 上智大学チームの車両

第6回 全日本学生フォーミュラ大会エントリーチーム

海外

15(+11)

- (韓国) Yeungnam University
- (台湾) Kunsan National University
- (中国) Southern Taiwan University of Technology
- (中国) Tongji University ☆
- (インド) Donghua University ☆
- (インド) Thapar University ☆
- (インド) Laxmi Devi Institute of Engineering and Technology ☆
- (インド) M.H.S.S. College of Engineering ☆
- (インド) M.S.Ramaiah Institute of Technology ☆
- (インド) Indian Institute of Technology Madras ☆
- (インド) Vnr Vignana Jyothi Institute of Engineering and Technology ☆
- (インド) Guru Gobind Singh Indraprastha University ☆
- (イラン) iran university of science & technology(Arak branch) ☆
- (スリランカ) The Institute of Automotive Engineers Sri Lanka (IAESL) ☆
- (タイ) King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang ☆

☆印:初参加校

北海道

北海道大学

1

東北

秋田県立大学 ☆
山形大学 ☆

2 (+1)

関東甲信越

- 上智大学
- 国士館大学
- 東京大学
- 芝浦工業大学
- 東海大学
- ホンダテクニカル カレッジ 関東
- 宇都宮大学
- 明星大学
- 武蔵工業大学
- 神奈川工科大学
- 横浜国立大学
- 首都大学東京
- 慶應義塾大学
- 日本大学理工学部
- 千葉大学
- 茨城大学
- 東京農工大学
- ものづくり大学
- 東京理科大学
- 山梨大学
- 成蹊大学
- 信州大学
- 工学院大学
- 日本大学生産工学部
- 日本工業大学 ☆
- 埼玉工業大学 ☆
- 東京工業大学 ☆
- 湘南工科大学 ☆

28 (+1)

中部・東海・北陸

- 金沢大学
- 静岡大学
- 金沢工業大学
- 名古屋工業大学
- 名古屋工業科学大学
- 豊橋技術科学大学
- 静岡理工科大学
- 名城大学
- 大同工業大学
- 岐阜大学
- 福井大学
- 福井工業大学
- トヨタ名古屋自動車大学校 ☆

13 (+1)

関西・中国・四国

- 京都大学
- 大阪市立大学
- 近畿大学
- 大阪大学
- 岡山大学
- 同志社大学
- 立命館大学
- ホンダテクニカル カレッジ 関西
- 神戸大学
- 高知工科大学
- 京都工芸繊維大学
- 大阪産業大学 ☆
- 大阪工業大学 ☆

13

九州

- 九州工業大学
- 久留米工業大学
- 九州産業大学 ☆
- 薬城大学 ☆
- 北九州市立大学 ☆

5 (+2)

合計 77チーム (前年+16)

国内 62 (+5)

海外 15 (+11)

初参加 21 (+10)

※ () 内は対前年比

北海道支部

東北支部

関東支部

中部支部

関西支部

九州支部

大会を安全に、楽しく観戦していただくために

Event Safety

大会を安全に、楽しく観戦していただくためにご協力をお願いします。

- △ 動的エリア（会場マップのDynamic events area）への立ち入りはいかなる場合でもできません。（除く動的審査参加チームのダイナミックパス保持者・動的審査スタッフ）
- △ 動的審査およびプラクティスは、指定の観戦エリアでご観戦ください。また、車両走行中は、カメラのフラッシュはドライバーの運転に影響を与えることから使用をしないようお願いします。
- △ パドックエリアへの入場には制限があり、許可なく立ち入ることはできません。
- △ 喫煙は会場内の指定の喫煙所をお願いします。指定場所以外すべて禁煙です。
- △ ゴミは指定の場所に分別して捨ててください。
- △ 炎天下の観戦については体調管理に十分注意し、水分を補給してください。なお体調を悪くした方は、早めに大会本部まで申し出てください。大会期間中、大会本部に医師、看護師が待機しています。
- △ 大会会場付近には、スズメバチ、ヘビが生息しています。見かけたら近寄らないでください。万が一、刺されたり、噛まれたりした場合は、近くにいるスタッフに声を掛けるか、大会本部にお申し出ください。
- △ 大会期間中はスタッフの指示に従ってください。

「自動車開発・製作ガイド」

— 学生フォーミュラカーを題材として —

自動車設計・製作のステップアップに・・・

「全日本 学生フォーミュラ大会」への参加がより適切な体験学習になることを考え、PBL(Project/Problem-Based Learning)手法を取り入れたセミナーのテキストとして執筆しています。

<本書の特徴>

- ①車の企画・設計・製作・評価検証・マネージメントなどのプロセスを理解してもらう
- ②製作技能・評価技術・運転技能を一部ではあるが体験できる内容とする
- ③理論の詳細は「自動車技術基礎講座」に受け持ってもらい、「ものを作ること」が出来るようになることに力点を置き、出来るだけ実践的且つ演習的内容とする



 社団法人自動車技術会

定 価 2,625円(本体2,500円)
会員価格 2,100円(本体2,000円)
アカデミア価格1,313円(本体1,250円)
送 料 380円

詳細・お申込は下記Webサイトをご覧ください
<http://tech.jsae.or.jp/hanbai/>

※セミナー会場（9月11日）でもご購入いただけます

[問合せ先] Tel 03-3262-8215 Fax 03-3261-2204
E-mail:book@jsae.or.jp

第5回 全日本 学生フォーミュラ大会参戦記

上智大学 Sophia Racing
2007年度プロジェクトリーダー 泉 隼太

思い返せば、私の学生時代は学生フォーミュラと共に歩んできた学生生活だったと感じている。第1回日本大会総合優勝から第4回総合優勝そして、第5回総合優勝と最高の形で学生フォーミュラ活動を体験することが出来た。特に、第5回大会は史上初の2連覇のかかった大会となり、周りからの期待や前年度優勝校としての重圧の中で、昨年度よりさらにチーム一丸となって参戦した大会になった。

日本大会に参戦したSR06の車両開発においては、「基本に忠実な設計」、「軽量」、「高い商品性」の3つを設計コンセプトに掲げ、SR05の熟成を念頭において設計を行った。

パワートレインではエンジントルクの向上と信頼性の強化を行った。シャシーにおいても各種軽量化、サスペンションジオメトリの変更、フレームの簡略化および剛性の向上、前後重量バランスの再検討等を行い、車両運動性能を進化させた。またエアロダイナミクスにも力を注ぎ、様々な空力解析を行い、アンダーパネルを採用することによりダウンフォースを得ることができるようになった。

SR06は7月に日本代表校としてイギリス大会に参加するも、車両熟成の甘さからトラブルを抱えながらの走行となり、悔し涙を飲んだ。そのためイギリス大会後、9月の日本大会に向け練習走行を重ね熟成を重ねた上で日本大会に臨んだ。

第5回大会には過去最大の59チームが参加し、エコパに到着した私は“再びこの決戦の地に戻ってきた”と感じていた。静的イベントにおいては、プレゼンテーション1位、デザイン1位、コスト28位と車両の価格に課題を残したものの着実にポイントを重ねた。車検も無事に通過し、動的イベントのアクセラレーション、スキッドパッドではそれぞれ7位、2位につけ、オートクロスでは2年連続首位の座を守ることが出来た。そして、最終種目のエンデュランスに向け、これまでのポイントを集計し他チームとの差を把握することで、ドライバーへの精神的プレッシャーを軽減させ、安定した走行を行いすべての競技を終えた。

表彰式では、これまで以上に多くの賞を受賞しチームメンバー1人1人の協力がなければここまでチームの力は高められなかったと感じている。2年連続日本大会総合優勝を達成し、最後には、再度男涙を流したが、今年度の優勝は本当にチーム全員で勝ち取った去年とはまた質の違う優勝であったと感じている。

僕がチームリーダーとして突っ走ってきた2年間は長いようでとても短い2年間だった。ここまで一生懸命活動することができたのも、FAやチームメンバーそしてチームを支えていただいたスポンサーや多くの関係者の方々無しでは活動することはできなかったと感じている。

多くの方々に感謝すると共に、今後もこの実りある学生フォーミュラ大会がより発展すること祈っている。



第5回ドキュメント

5th Competition Result

第5回大会(2007.9.12~15)

第5回大会は、2007年9月12日(火)~15日(土)まで、昨年と同じエコパ(小笠山総合運動公園)で120を超える企業、団体からのスポンサーの協力を得て開催された。参加チーム数は昨年より10チーム増え海外からの4チームを含む61チームがエントリーした。そのうち初参加は10チーム、北海道、東北から各1チームが初めて参加した。参加者数は大会スタッフ358名、チームメンバー1,174名、プレス関係者、一般見学者を含めると約3,000名の規模の大会となり、大幅に増加した。最終結果は上智大学チームが2連覇をはたした。今年5月にアメリカで開催されたF-SAE大会への出場権を得た。

大会初日。前日夜から降り続いていた雨は午前中には上がり、昼過ぎには薄日も差す天候となった。初日の技術車検通過は、24チームにのぼり、そのうちブレーキテストも終え車検を完了したのは12チームだった。コスト、デザイン、プレゼンテーションの静的審査もスケジュールは順調に行われ、また、動的審査に向けてプラクティスも開始された。

大会2日目。天候は曇り。前日に車検を完了したチームが次々と動的審査のアクセラレーション、スキッドパッドへのチャレンジを開始し、午後からはオートクロスに挑んだ。この日、車検を完了し動的審査に進んだのは44チーム、オートクロスまで終えたのは43チームだった。

大会3日目。天候は曇りのち晴れ。いよいよ動的審査のメインイベントともいえるエンデュランスが始まった。この日、マシンの性能を如何なく発揮したチームは35チームだった。

大会最終日。天候晴れ。前日に引続きエンデュランスと、初日のデザイン審査上位6チームによるデザインファイナル審査が行われた。また、最終日の朝には台風の影響で参加が危ぶまれていた北海道大学のマシンが到着し、審査へ向かった。天気の良い週末ということもあり、地元からの来場者をはじめ多方面から多くの方々が訪れ会場は賑わっていた。午前中には全ての審査が終了し、午後からは集合写真および表彰式を行い、閉会を迎えた。



【1位】
上智大学



【2位】
国士舘大学



【3位】
金沢大学

- 4位 東京大学
- 5位 芝浦工業大学
- 6位 京都大学
- 7位 静岡大学
- 8位 大阪市立大学
- 9位 近畿大学理工学部(大阪)
- 10位 東京電機大学
- 11位 東海大学
- 12位 ホンダテクニカルカレッジ関東
- 13位 大阪大学
- 14位 宇都宮大学
- 15位 明星大学
- 16位 武蔵工業大学
- 17位 金沢工業大学
- 18位 University of Ulsan
- 19位 神奈川工科大学
- 20位 横浜国立大学
- 21位 首都大学東京
- 22位 慶應義塾大学
- 23位 日本大学理工学部
- 24位 千葉大学
- 25位 Yeungnam University
- 26位 Southern Taiwan University
- 27位 茨城大学

- 28位 岡山大学
- 29位 名古屋大学
- 30位 名古屋工業大学
- 31位 東京農工大学
- 32位 豊橋技術科学大学
- 33位 静岡理工科大学
- 34位 同志社大学
- 35位 立命館大学
- 36位 名城大学
- 37位 ホンダテクニカルカレッジ関西
- 38位 大同工業大学
- 39位 ものつくり大学

- 40位 岐阜大学
- 41位 九州工業大学
- 42位 千葉工業大学
- 43位 東京理科大学
- 44位 山梨大学
- 45位 福井大学
- 46位 神戸大学
- 47位 高知工科大学
- 48位 成蹊大学
- 49位 早稲田大学
- 50位 信州大学
- 51位 久留米工業大学
- 52位 京都工芸繊維大学
- 53位 大阪産業大学
- 54位 工学院大学
- 55位 福井工業大学
- 56位 Kusan National University of Technology and Education
- 57位 秋田県立大学
- 58位 北海道大学
- 59位 九州産業大学

大会グラビア【2007年 第5回大会】

Photo gallery



Competition Site



ECOPA Guide Map

